

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラジャシユータインヅ プリンタの準備	仕様	付録	索引
	P4T の概要		プリンタの接続	無線通信規制情報	



Zebra
P4T/RP4T™
 モバイルプリンタシリーズ
ユーザーガイド

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要					
		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

所有権に関する声明

本書は Zebra Technologies Corporation が所有権を持つ情報を含みます。本書は、本書に記載されている機器の操作およびメンテナンスを行う当事者による情報参照および使用のみを目的としています。かかる著作権情報は、Zebra Technologies Corporation の書面による明示的許可がない限り、他のいかなる目的であれ、他のいかなる相手に対しても、使用、再生産、開示することはできません。

製品の改良

Zebra Technologies Corporation の継続的な製品改良を行うという企業方針に従い、すべての仕様および表示は予告なしに変更されることがあります。

FCC 規制準拠

この機器は FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作においては次の 2 つの制約を条件とします。(1) この機器は有害な干渉を引きこさない、(2) この機器は望ましくない動作の原因となる干渉も含めて、受信したあらゆる干渉をすべて容認する必要があります。

注記: 本機器は試験により、FCC 規則パート 15 に定められたクラス B デジタルデバイス、または許容限度値に適合することが確認されています。これらの制限は、本機器が居住区域で設置されたときに、有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。この機器は無線周波数エネルギーを生成、使用および放射するため、指示に従って設置、使用しない場合には、無線通信への有害な干渉の原因となることがあります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないという保証はありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼしている原因であるかどうかは、機器の電源のオン・オフを切り替えることにより判断することができます。本機器が原因である場合、ユーザーは以下の対策の 1 つ以上を実施して干渉を修正してみてください。

- 受信アンテナの方向や位置を変えてみる。
- 機器と受信機との距離をあげる。
- 受信機が接続されているコンセントまたは回路とは別のコンセントまたは回路に機器を接続する。
- ディーラーまたは熟練のラジオ/テレビ技術者に相談する。

警告: 高周波への暴露。FCC RF 暴露要件に準拠するため、本機器は本書記載の操作条件および指示に従って使用されるものとします。このプリンタには、利用可能なワイヤレス通信オプションがいくつかあります。各ワイヤレス通信に関する補足規制情報については、後の項に記載されています。

注記: 本装置は、シールドケーブルを使用した周辺機器との接続試験済みです。準拠を保証するため、本装置にはシールドケーブルを使用する必要があります。

Zebra Technologies Corporation が明示的に許可していない本装置の変更または改造により、本機器のユーザーの操作権限が無効になる可能性があります。

カナダの規制準拠

このクラス B のデジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

「IC:」機器認証番号の前にある「IC:」はカナダ産業省の技術仕様を満たしていることを示します。認可製品がユーザーの期待どおりに機能することは保証していません。

代理店認可および規制情報

- | | |
|------------------------------------|----------------------|
| • FCC パート 15 | • カナダ STD RSS-210 |
| • NOM-ETL (メキシコ) | • EN60950: 2000 安全規格 |
| • EN55022:1998 クラス B 欧州
電磁放射線規格 | • C-Tick (オーストラリア) |

責任の否認

Zebra Technologies Corporation は、本書の情報を正確なものにするために最大限の努力を払っておりますが、誤った情報および漏れに関するいかなる責任も負いません。Zebra Technologies Corporation は、かかる誤りを訂正する権利を留保し、それから生じる責任を放棄します。

間接的損害の責任免除

付随の製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の製作、生産、または出荷に関わる Zebra Technologies Corporation またはその他の当事者も、かかる製品の使用、使用の結果、

または使用できなかったことから生じるいかなる損害 (制限無しに事業利益の損失、事業中断、事業情報の損失などによる損害、またはその他の金銭上の損害を含む) に関して、たとえ Zebra Technologies Corporation がかかる損害の可能性について通知を受けていたとしても、責任がないものとします。州によっては間接的損害または付随的損害の免除を認めていないため、上記の制限が適用されない場合があります。

著作権

本書および本書に記載のラベル印字エンジンの著作権は Zebra Technologies Corporation が所有します。本書またはラベル印字エンジンのソフトウェアを無許可で複製した場合、1 年以下の懲役および、10,000 ドル以下の罰金が科せられる場合があります (17 U.S.C.506)。著作権の侵害は民事責任の対象となる場合があります。

本製品には ZPL[®]、ZPL II[®]、および ZebraLink[™] プログラム、Element Energy Equalizer[®] Circuit; E3[®]、および AGFA フォントが含まれている場合があります。Software © ZIH Corp. 無断複写・転載を禁止します。

ZebraLink およびすべての製品名、および番号は、商標であり、Zebra、Zebra ロゴ、ZPL、ZPL II、Element Energy Equalizer Circuit、および E3 Circuit は、ZIH Corp. の登録商標です。無断複写・転載を禁止します。

Monotype[®]、Intellifont[®] および UFST[®] は Monotype Imaging, Inc. の商標であり、米国特許商標局に登録されています。この商標は一定の法域において登録されていることがあります。

Andy[™]、CG Palacio[™]、CG Century Schoolbook[™]、CG Triumvirate[™]、CG Times[™]、Monotype Kai[™]、Monotype Mincho[™] および Monotype Sung[™] は Monotype Imaging, Inc. の商標であり、一定の法域において登録されていることがあります。

HY Gothic Hangu[™] は Hanyang Systems, Inc. の商標です。

Angsana[™] は Unity Progress Company (UPC) Limited. の商標です。

Andale[®]、Arial[®]、Book Antiqua[®]、Corsiva[®]、Gill Sans[®]、Sorts[®] および Times New Roman[®] は Monotype Corporation の商標であり、米国特許商標局に登録されています。この商標は一定の法域において登録されていることがあります。

Century Gothic[™]、Bookman Old Style[™] および Century Schoolbook[™] は Monotype Corporation の商標であり、一定の法域において登録されていることがあります。

HGP Gothic B は Ricoh company, Ltd. の商標であり、一定の法域において登録されていることがあります。

Univers[™] は Heidelberger Druckmaschinen AG の商標であり、一定の法域において登録されていることがあります。また、この商標は Heidelberger Druckmaschinen AG の完全子会社である Linotype Library GmbH を通して独占的に許諾されています。

Futura[®] は Bauer Types SA の商標であり、米国特許商標局に登録されています。この商標は一定の法域において登録されていることがあります。

TrueType[®] は、Apple Computer, Inc. の商標であり、米国特許商標局に登録されています。この商標は一定の法域において登録されていることがあります。

その他すべてのブランド名、製品名、商標の所有権は各所有者に帰属します。

©2008 ZIH Corp.

マニュアルについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

表記規則

本書では、特定の情報を伝えるために以下の表記規則を使用しています。



注意・静電気放電の可能性のあることを警告します。



注意・電氣的ショックの可能性のあることを警告します。



注意・過度の熱が火傷の原因となる状態を警告します。



注意・特定の対策を取らなかったり、回避するとお客様に身体的危害が及ぶ原因となる可能性があることを忠告します。

注意・特定の対策を取らなかったり、回避するとハードウェアへの物理的損傷の原因となる可能性があることを忠告します。



重要・タスクを終了するための重要な情報について忠告します。



注記・本文の重要ポイントを強調または補足する中立的または肯定的な情報を示します。

[このフォーマット](#)のテキストは本マニュアルの適切な項にジャンプします。



P4T シリーズについて

ZebraP4Tシリーズモバイルプリンタをお選びいただきありがとうございます。P4Tシリーズには2つのモデルがあります。P4Tは感熱紙または熱転写紙に印刷できます。RP4Tは感熱紙または熱転写紙に印刷できるだけでなく、特殊 RFID 紙にエンコードすることもできます。

Zebra Technologiesのこれらのプリンタは、すべてワールドクラスのサポートが保証されており、バーコードプリンタ、ソフトウェア、消耗品など、お客様のニーズにいつでもお応えします。

- このユーザーガイドには、P4T および RP4T の両方のモデルの操作およびメンテナンスに必要な情報が記載されています。
- P4T シリーズプリンタは CPCL プログラミング言語を使用します。CPCL 言語を使用したレシートやラベルの作成および印刷を行うには、www.zebra.com/manuals から入手可能な Label Vista™ ラベル作成プログラムまたは「Mobile Printing Systems CPCL Programming Manual」を参照してください。
- P4T シリーズプリンタのソフトウェアには ZPL II® プログラミング言語(30.8.4 以前のバージョン)用のインタプリタが含まれています。ZPL ラベルデザインプログラミング言語に関するマニュアルも Zebra Technologies の Web サイトから入手していただけます。マニュアルやその他のユーザー情報へのアクセスおよびダウンロードに関する詳細は、本書の [付録 F](#) を参照してください。

! 常に、プリンタに同梱の「安全に関する重要な情報」データシートと、バッテリーパックに同梱の「テクニカルブリテン」を参照してください。このプリンタを使用する際の最大の信頼性と安全性を確保するため

の詳細手順が記載されています。

パッケージの開封と確認

配送時に損傷を受けていないかどうか、プリンタを確認してください:

- 本体表面に損傷がないかどうか確認します。
- メディアカバーを開き(「プリンタの準備」の項の「用紙の装填」を参照)、用紙コンパートメントに損傷がないかどうか確認します。

返品が必要な場合に備え、段ボール箱やすべての包装材は保存しておいてください。

損傷の報告

配送時に受けた損傷が見つかった場合:

- すぐに配送会社に通知して損害報告書を提出します。Zebra Technologies Corporation は、プリンタ配送時に発生する損傷の責任を負いません。また、この損傷の修理は保証には含まれません。
- 調査に備え、段ボール箱やすべての包装材は保存しておいてください。
- Zebra 認定販売代理店にご連絡ください。

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
	P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

P4T/RP4T の概要

図 1 - P4T/RP4T 図解

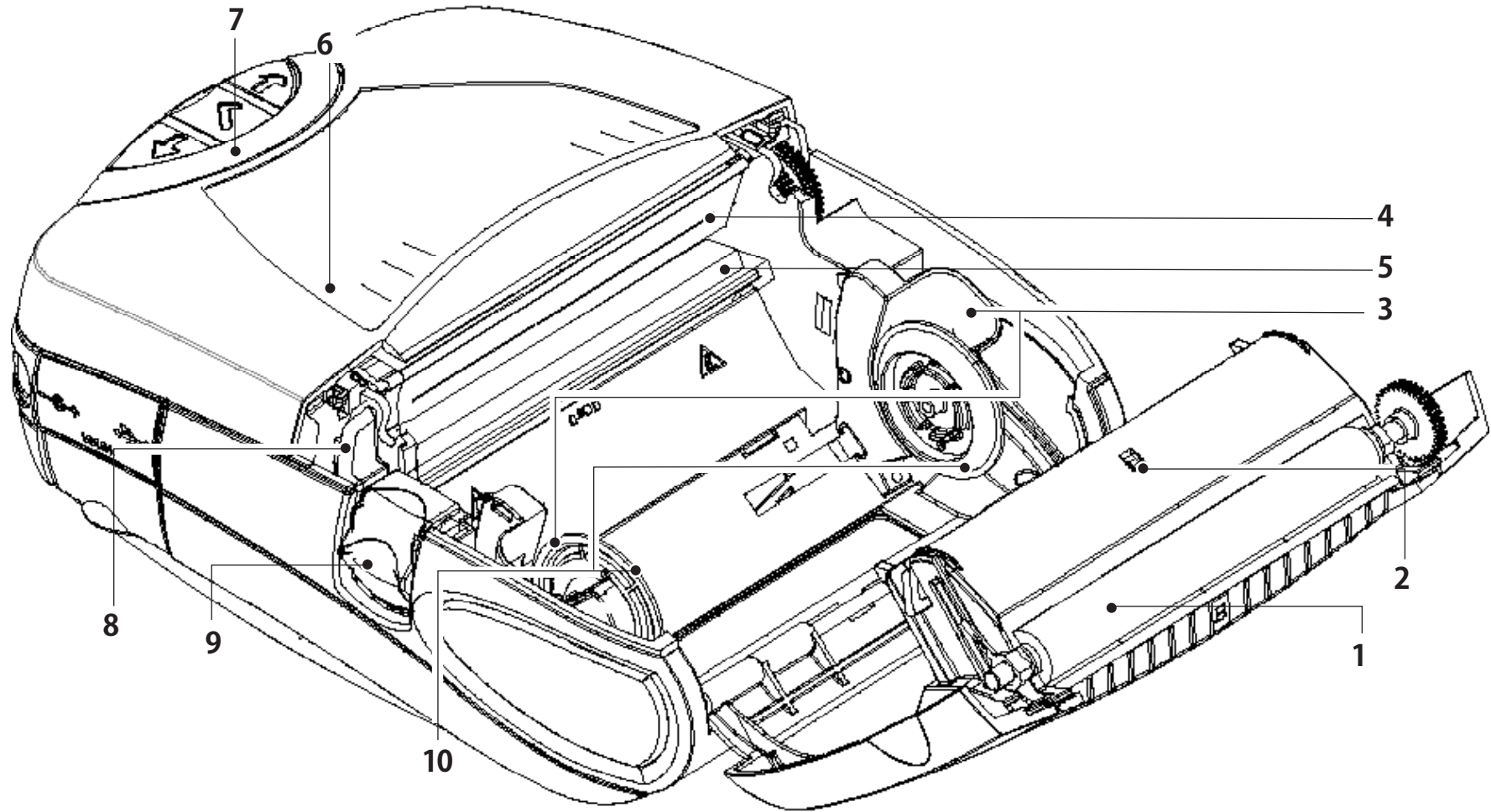
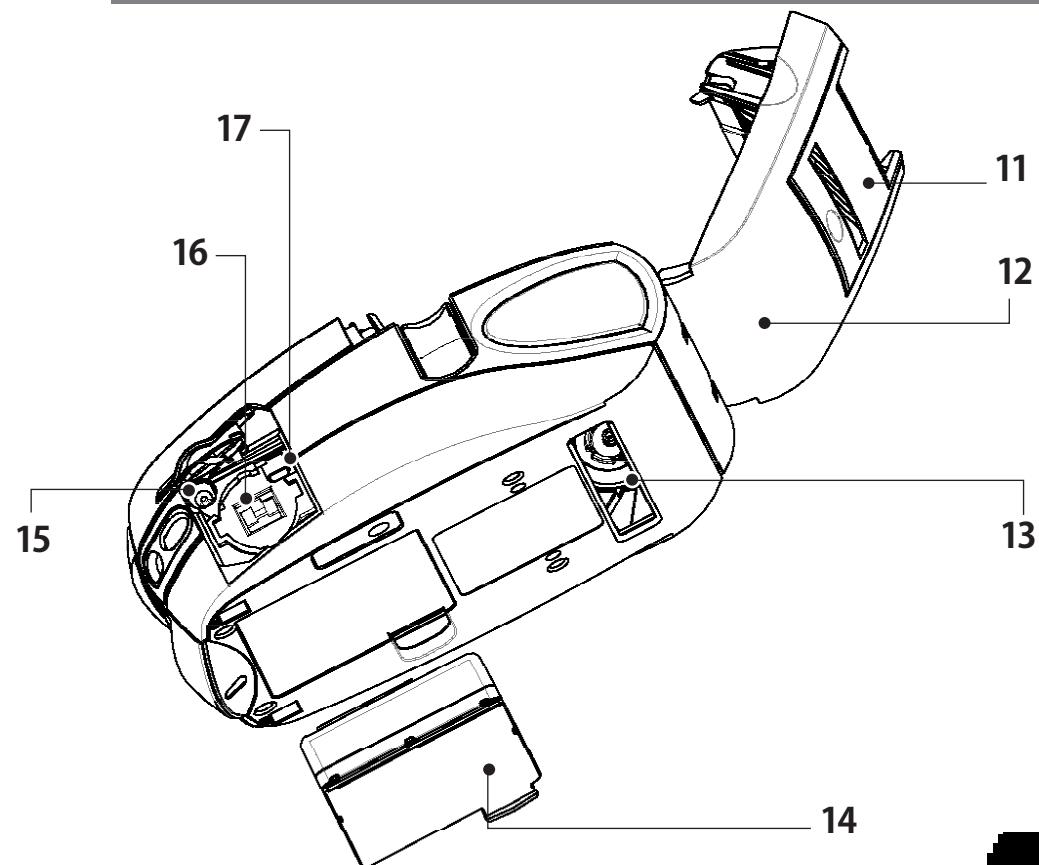


図 1a - P4T/RP4T 底面



- 1 プラテンローラー
- 2 バーセンサー
- 3 メディアサポート
- 4 印字ヘッド
- 5 RFID リーダー/エンコーダ (RP4T のみ)
- 6 リボンカートリッジカバー
- 7 コントロールパネル
- 8 リボンカートリッジカバーのラッチ
- 9 メディアカバーのラッチ
- 10 メディアサポートディスク
- 11 ラベルピーラー
- 12 メディアカバー
- 13 外部メディアアクセス (オプション)
- 14 バッテリー
- 15 充電用ジャック
- 16 RS232 通信ポート
- 17 USB ポート

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	無線通信規制情報	索引
P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続				

RP4T プリンタ	メンテナンス	トラブルシューティング	付録
スマートバッテリー	P4T の概要	プリンタの準備	無線通信規制情報
		仕様	索引
		プリンタの接続	

P4T シリーズのテクノロジー

P4T シリーズでは Zebra Mobile Printer 製品ラインに、いくつかの新しい技術を導入しています。

スマートバッテリー

P4T シリーズのバッテリーパックには、プリンタが操作パラメータを監視するための電子部品が組み込まれています。代表的なものとしては、バッテリーの充電状態、今までの充電回数や製造日付があります。P4T シリーズのソフトウェアはこれらのパラメータを使ってバッテリーの状況を監視し、ユーザーに充電、再調整、または取り外しの時期を通告できます。

! Zebra が P4T シリーズのプリンタ用に製造したバッテリーパック以外のバッテリーパックを使用すると、Zebra スマートバッテリーの診断機能が使えず、プリンタがうまく動作しないことがあります。

印刷テクノロジー

P4T シリーズは、次の2つの方法で人間が読めるテキスト、グラフィック、そしてバーコードを印刷します: 感熱および熱転写

感熱

感熱印刷は、特殊処理したメディア上で熱を使って化学反応を起こします。この反応により、印字ヘッドの熱されたエレメントがメディアと接触すると、黒い印ができます。印字エレメントは203d.p.i.(ドット/インチ)または1mm当たり8ドットと非常に高密度に配置されているため、メディアが印字ヘッドを通過するにしがたい、非常に読みやすい文字やグラフィック要素が一度に一行ずつ印刷されます。インクまたはトナーのような消耗品の必要がないので、このテクノロジーには単純さという利点があります。ただし、メディアは熱に敏感なので、特に比較的高温の環境にさらされていると、読みやすさが長い時間をかけて徐々に失われます。

熱転写

熱転写印刷は、印字ヘッドエレメントが印字ヘッドとメディアの間を移動する転写フィルムと反応することを除いて、感熱と同じ基本テクノロジーを使用しています。この印刷処理は熱転写素材と印刷されるメディアを融合させ、非常に濃く、感熱印刷よりも永続的な文字やグラフィックイメージを作ります。この利点を相殺するのは、熱転写フィルムの高いコストと感熱印刷より遅い印刷速度です。

P4T シリーズの熱転写フィルムは、簡単に取り付けできるカートリッジで提供されます。通常は、熱転写フィルムのカートリッジは、交換が必要となるまでに2本のメディアロールを印刷できます。この比率は、ロール当りのラベルストックの量によって変化します。

RFID (無線自動識別)

RFID エンコーダを装備した P4T シリーズプリンタでは従来の熱転写テクノロジーの使用に加えて無線周波数を使用した特殊なラベルメディア上に情報をエンコードすることもできます。これらのプリンタは RP4T プリンタとして識別されます。

RFID でエンコードされた情報は、RFID スキャナを使って、エンコードされたラベルから数インチから数ヤードの距離で抽出されます。

Zebra による RFID の実装は業界標準に準拠しています。例として、RP4T は送信後にラベルメディアにエンコードされた情報を検証し、データが正しくない場合にはラベルを無効にします。RFID に関する詳細情報は、Zebra の Web サイトからダウンロードできる Zebra の『[RFID プログラミングマニュアル](#)』を参照してください。

RP4T プリンタ	マニュアルについて
メンテナンス	P4T の概要
トラブルシューティング	プリンタの準備
仕様	プリンタの接続
付録	無線通信規制情報
索引	

プリンタの準備

バッテリーの取り扱いに関する注意事項

Zebra モバイルプリンタで使用されているバッテリーパックは高エネルギー密度であるため、不適切または不注意に使用するとケガを招いたり、発火したりする恐れがあります。以下の安全手順を守ってください:

 **注意**・バッテリーの不慮の短絡が起こらないように注意してください。バッテリーターミナルが導電性材料と接触すると、短絡が生じ、やけどなどのケガを招いたり、発火したりする恐れがあります。


 **注意**・バッテリーは、不適切な方法で充電したり、高温にさらされたり、火に近づけたりすると爆発または発火する可能性があります。バッテリーを分解したり、破損したり、水につけたりしないでください。

注意・Zebra が認定していない充電器を使用すると、バッテリーパックまたはプリンタ本体を破損する恐れがあります。また、この場合、保証の適用外となります。

 各バッテリーパックと共に提供されるリチウムイオン (Li-ion) バッテリーについては、安全ガイドラインを注意深く読み、常に守ってください。

充電器の取り扱いに関する注意事項

 **注意** 充電器は、液体や金属製の物体が落ちてくる恐れのある場所には置かないでください。UCLI72-4 連充電器の場合は、充電ベイに入れてください。

 **注意** 認定 P4T シリーズのシングル充電器、AC アダプタまたは UCLI72-4 連充電器を設置する場所にはご注意ください。上面および底面カバーの換気スロットが遮られることのないようにしてください。バッテリーを夜間充電する場合、誤って電源が切られないように、充電器がしっかりと電源に接続されていることを確認します。

アルゼンチン向け必須規制テキスト

以下の電気的特性に適合した認可アダプタだけを使用してください。異なるアダプタを使用すると、機器に損傷を与えたり、ユーザーを危険に曝したり、対応する保証が無効になる恐れがあります。

LI72: 入力定格: 100-240 VAC 50/60Hz 200mA., クラス 2

出力定格: 8.4 VDC, 800 mA

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	仕様	付録
P4T の概要	トラブルシューティング	プリンタの接続	無線通信規制情報
	プリンタの準備		索引

認定充電器

以下の表は、P4T シリーズプリンタでの使用を認定された充電器の一覧です。

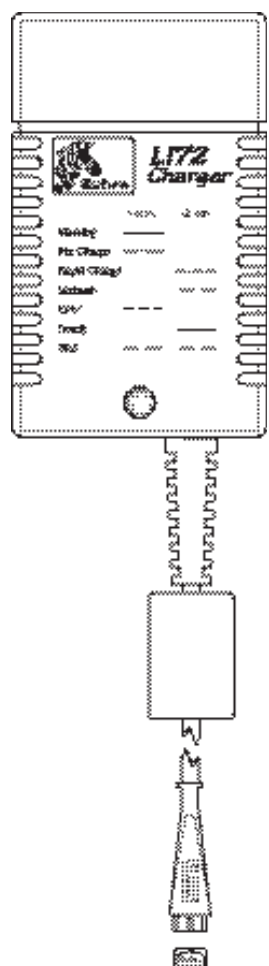
! 特にP4Tシリーズでの使用がZebraによって認定されていない充電器の使用は、保証を無効にし、プリンタまたはバッテリーパックに損傷を与える可能性があります。Zebra は、認定されていない機器の不適切な使用によって生じた機器への損傷について責任を負いません。

品目	部品番号	注記
LI72 シングル 充電器	AT17696-xx ¹	バッテリーをプリンタから 取り外して使用
AC アダプタ/JP ラインコード	AK18913-002	バッテリーをプリンタに 取り付けたまま使用
UCLI72-4 連充電器	AC18177-xx ¹	バッテリーをプリンタから 取り外して使用

1. 完全な部品番号は、使用を意図する地域に適したAC電源アダプタにより決まります。適切な部品番号については Zebra 営業担当または工場にお問い合わせください。

シングルバッテリー充電器

図 2 - LI72 シングル充電器



LI72 充電器
AT17696-タブ

LI72 充電器

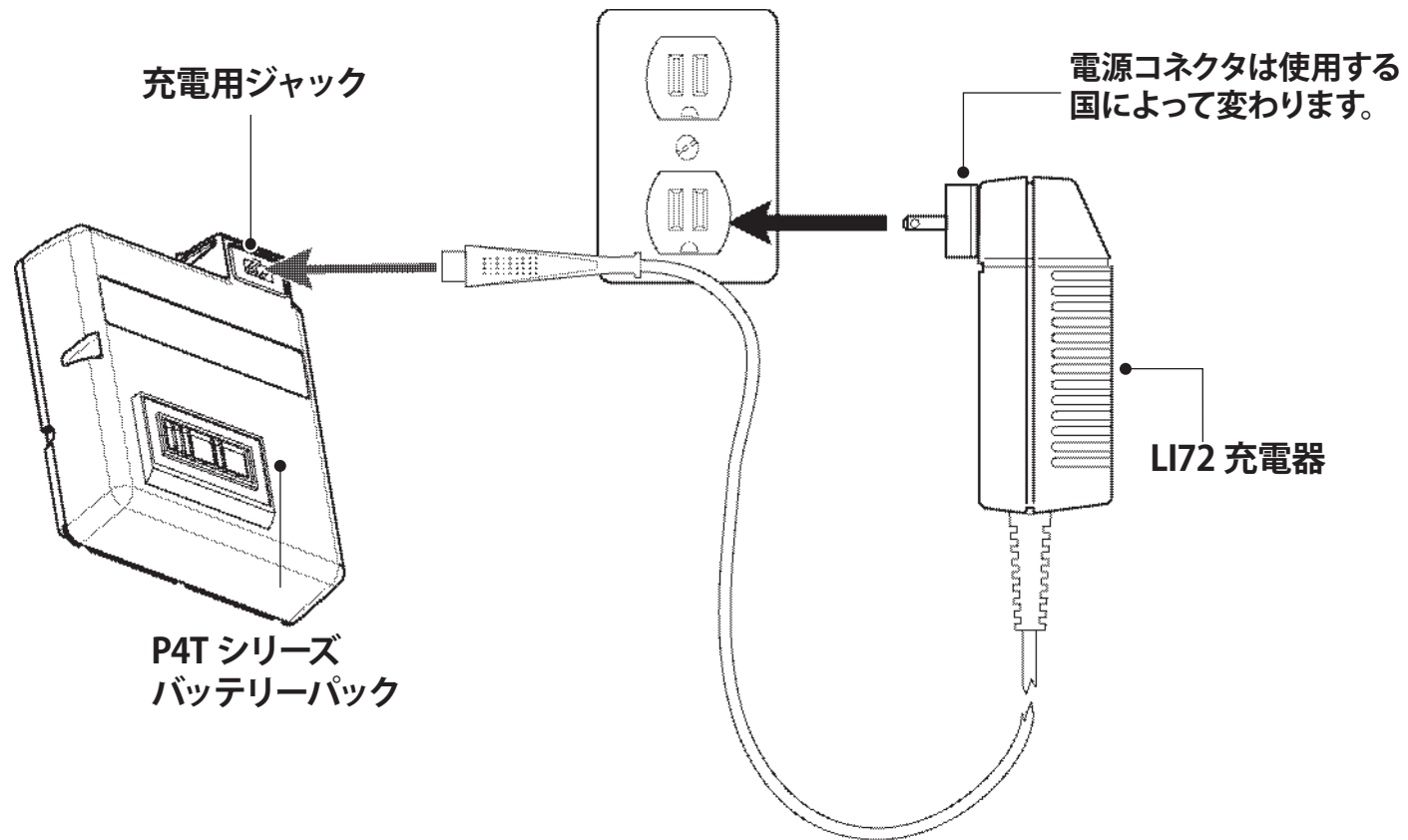
LI72 充電器は一般的な 110 ~ 230V、50-60 Hz VAC 入力を持つ壁差し込みタイプの高速充電器です。複数のACプラグ構成がほとんどの国際的な標準に適合しています。この充電器は、リチウムイオン(Li-ion)バッテリーを装備した P4T シリーズプリンタで使用されます。

完全な部品番号は、AC電源コネクタにより決まります。部品番号の詳細な情報は、Zebraまたは認定販売代理店までお問い合わせください。

LI72はバッテリーパックをその充電レベルで可能な限り高速に充電した後、最大充電状態に保つためのメンテナンス充電に切り替えます。

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	無線通信規制情報	付録
P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続			
			索引		

図 3 - LI72 を使用した P4T シリーズバッテリーの充電



AT17696-xx LI72 シングル充電器を使用したバッテリーパックの充電

LI72 を適切な AC 壁コンセントに差し込んだ後、充電ケーブルをバッテリーパックの充電ジャックに挿入します。黄/緑の充電インジケータ LED は以下の表に記載されたとおり充電器のステータスを示します。

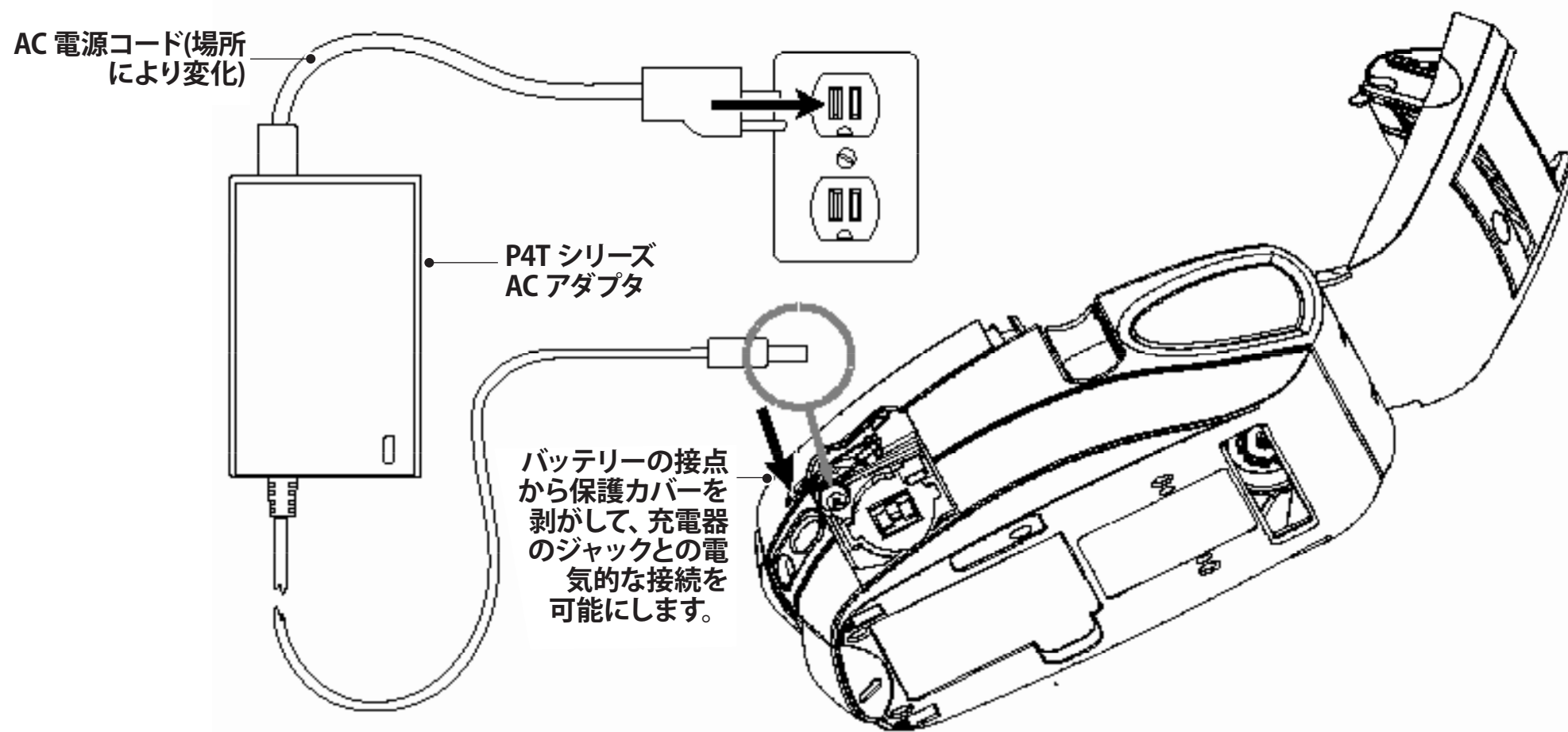
インジケータ	充電器機能	充電器ステータス
黄のインジケータが点灯	スタンバイ	AC 電源オン。バッテリーは充電されていない
黄のインジケータが低速で (1 Hz) 点滅	事前充電	バッテリー温度が低い場合、完全充電を開始する前に 0°C まで上昇させるために充電器が細流充電電流を流している (最大の 5%)
緑のインジケータが高速で (4 Hz) 点滅	高速充電	充電器が最大充電速度で充電中
緑のインジケータが低速で (1 Hz) 点滅	メンテナンス	充電器が細流充電モード (公称充電値の 10%)。
黄のインジケータが高速で (4 Hz) 点滅	エラー	バッテリーが内部短絡しているか、充電監視回路が故障している可能性があります。この場合は、バッテリーパックの使用を中止してください。
緑のインジケータが点灯	準備完了	バッテリーは充電されていません。
黄と緑のインジケータが低速で (1 Hz) 交互に点滅	待機	バッテリー温度が熱すぎます。バッテリー温度が 45°C になるまで充電を開始しません。



注記: AT17696-xx LI72 シングル充電器を使用する場合は、バッテリーパックをプリンタから必ず取り外してください。充電器が「メンテナンス」モードになってから 3 時間後に充電が停止します。

AC アダプタを使用した P4T シリーズバッテリーの充電

図 4 - AC アダプタを使用した P4T シリーズバッテリーの充電



- P4T シリーズプリンタの保護カバーを開けて、充電ジャックと通信ポートを露出させます。
- AT18646-1 AC アダプタからプリンタの充電ジャックへバレルプラグを差し込みます。
- 適切な AC 電源コードをアダプタへ接続し、電源コードを AC コンセントに差し込みます。

以下の表は AC アダプタと P4T シリーズプリンタがどのように相互作用するかを詳しくまとめています。

プリンタステータス	充電器ステータス	プリンタ LCD	電源ボタンの操作
オフ	オフ	オフ	押すとプリンタがオンになります。
オン	オフ	通常が表示動作	押すとプリンタがオフになります。
オン	オン	通常が表示動作、加えてバッテリーのアイコンはレベルバーを通して循環します。必要に応じて、充電が続きます。	押すと、限定操作に切り替わります。限定操作では、充電および LCD 機能だけ使用できます。
オフ	オン	バッテリーのアイコンはレベルバーを通して循環します。充電サイクルの終了時にプリンタの電源も切れます。	押すとプリンタがオンになります。プリンタは普通に稼働します。

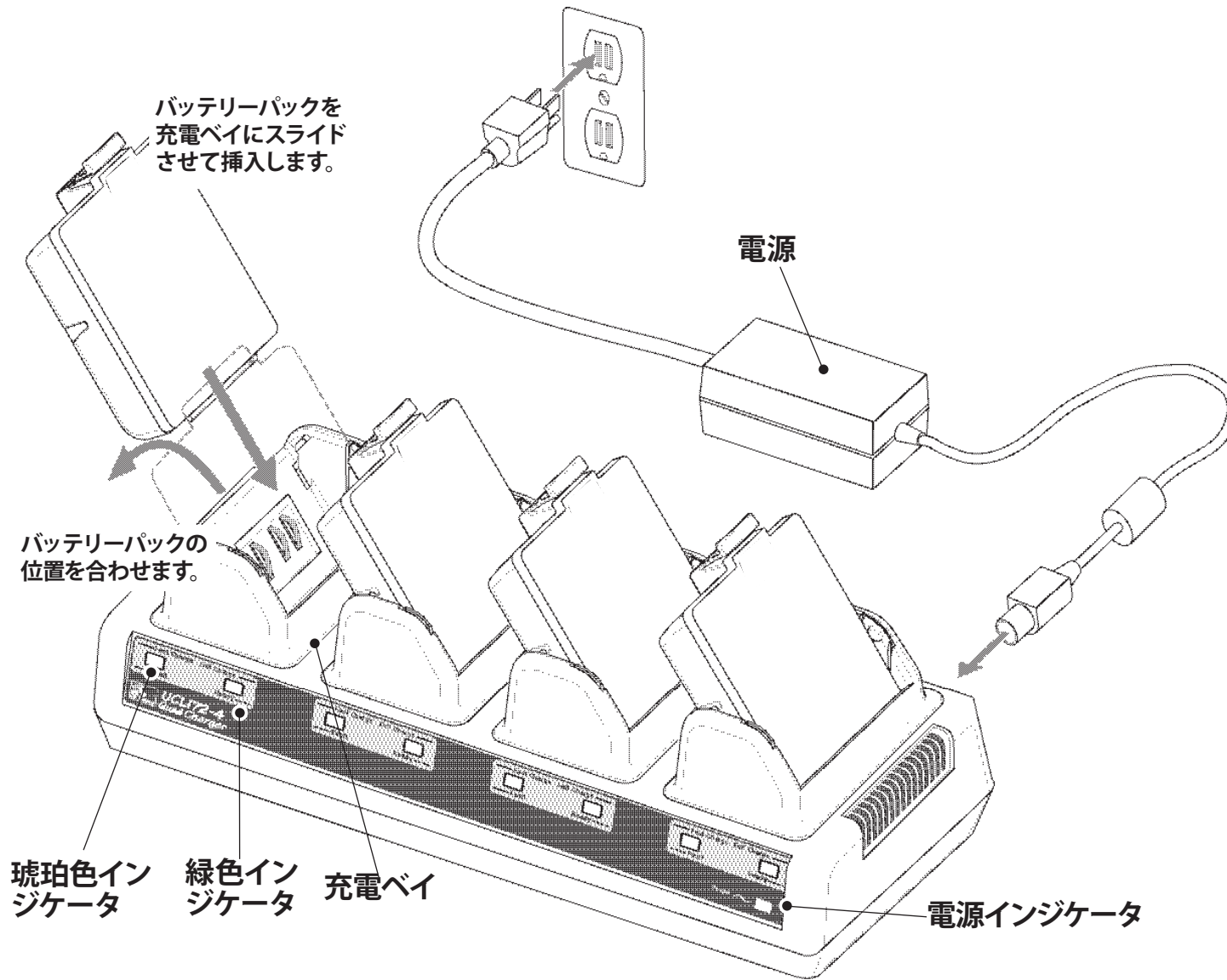


注記: バッテリーが安全な充電温度範囲外なら (熱過ぎたり、冷た過ぎる)、プリンタは「Charging will resume when battery is in the range 0-40 degrees C (32-104 degrees F) (バッテリーが摂氏 0-40 度 (華氏 32-104 度) の範囲になったら充電が再開します)」と表示し、バッテリーアイコンは と で交互に点滅します。バッテリーが安全充電温度に戻ったら、通常の充電が自動的に再開します。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

UCLI72-4 4 連充電器を使用した P4T シリーズプリンタの充電

図 5 - UCLI72-4 4 連充電器



UCLI72-4 4 連充電器は、バッテリーパックを最高4個まで同時に充電できるように設計されています。充電時間は次の通りです：

バッテリーステータス	充電時間
80% 充電	2.5 時間
完全充電	5 時間

- 4 連充電器の操作マニュアルに従って、充電器を正しく取り付けます。前面パネルの電源インジケータがオンになっているか確認してください。
 - 初めて使用する場合は、バッテリーパックの保護用収縮包装とラベルをすべて外します。左に示すように、バッテリーパックの方向に注意して4つの充電ベイのうちのいずれかに差し込みます。
 - バッテリーパックを充電ベイにスライドさせ、所定の位置に固定させます。
 - 次に、カチッと音がしてはまるまでバッテリーパックを後に揺り動かします。
- バッテリーが正しく挿入されている場合、充電されるバッテリーのすぐ下の琥珀色のインジケータがオンになります。
- 下の表に示すように、各バッテリーパックの下のインジケータによって充電プロセスを監視できます：

琥珀色	緑	バッテリーステータス
オン	オフ	充電中
オン	点滅	80% 充電完了 (使用可)
オフ	オン	100% 充電完了
点滅	オフ	欠陥のあるバッテリー

重要・失敗状態 (琥珀色のインジケータが点滅) はバッテリーパックの問題が原因です。充電器は、バッテリーが充電を行うには高温または低温すぎる場合に失敗状態を示すことがあります。バッテリーを室温に戻してから、再度充電を行ってください。2回目の充電も琥珀色のインジケータが点滅する場合は、このバッテリーを処分する必要があります。バッテリーの処分は、必ず適切な方法で行ってください。本マニュアルの付録 E を参照してください。

注記: UCLI72-4 連充電器の設置と使用に関する詳細情報は、同梱の説明書を参照してください。

UCLI72-4 連充電器には、充電状態に関係なく 6 時間後にバッテリーの充電を停止するという安全機能が付いています。

マニュアルについて	RP4T プリンタ	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
	P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

P4T シリーズバッテリーパックの取り付け

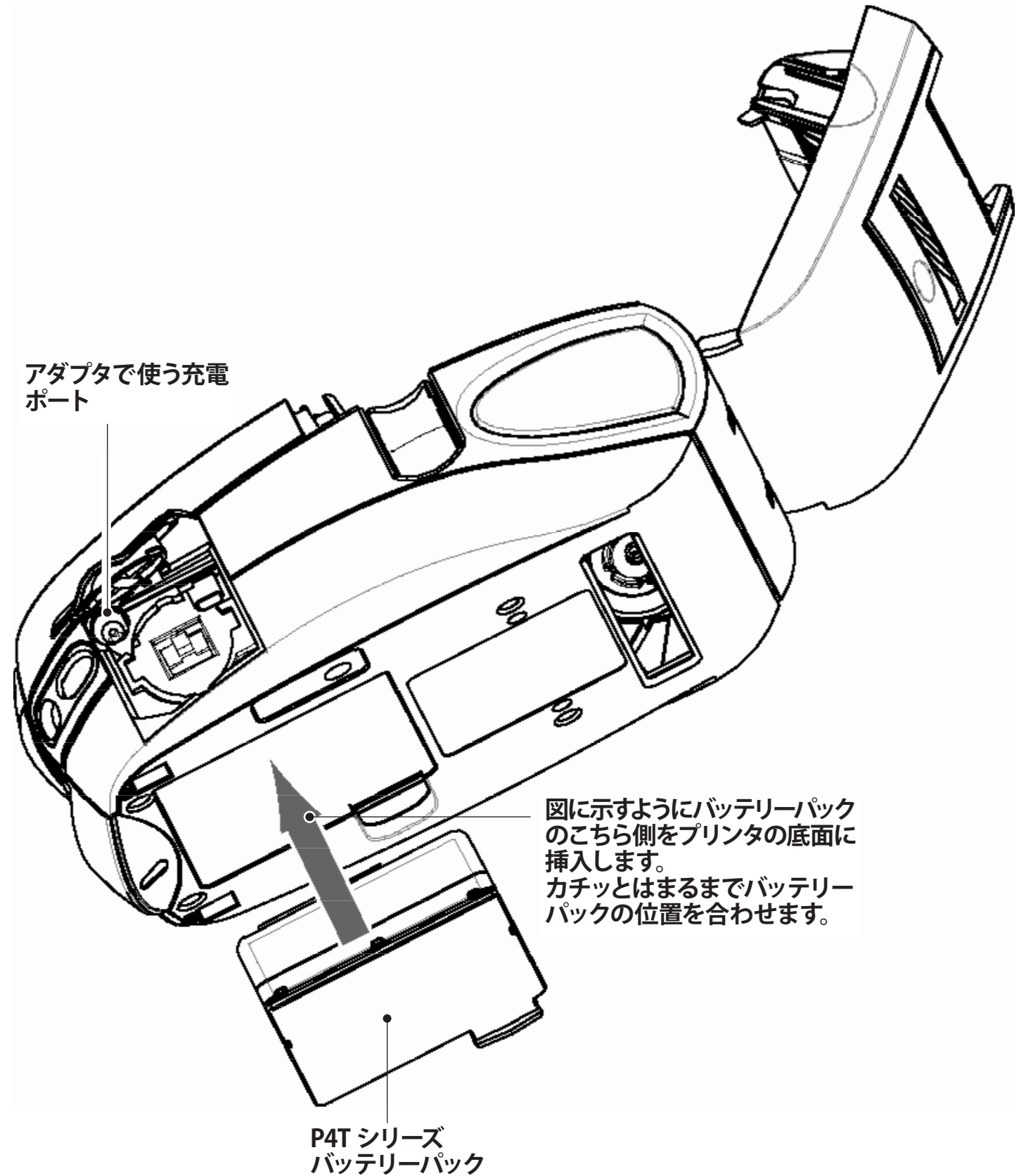
重要・新しいバッテリーパックは充電されていない状態で出荷されます。初めて使用する場合は、バッテリーパックの保護用収縮包装とラベルを外してください。
追加のバッテリーパックは Zebra 部品番号 AK18913-001 を使用して注文できます。

LI72 シングル充電器または LI72-4 4 連充電器を使用している場合、プリンタに取り付ける前に必ず充電してください。

- 図6に示すように、バッテリーパックをプリンタに挿入します。
- 図のように、バッテリーを所定の位置で固定させます。
ACアダプタを使用している場合、初めて使用する前にバッテリーパックを完全に充電してください。

新しいバッテリーパックを初めて取り付ける場合、コントロールパネル インジケータが一瞬点灯することがあります。これはバッテリーが完全に充電されていないことを示します。このマニュアルの「[バッテリーの充電](#)」および「[オペレータコントロール](#)」の項を参照してください。

図 6 - P4T シリーズバッテリーパックの取り付け

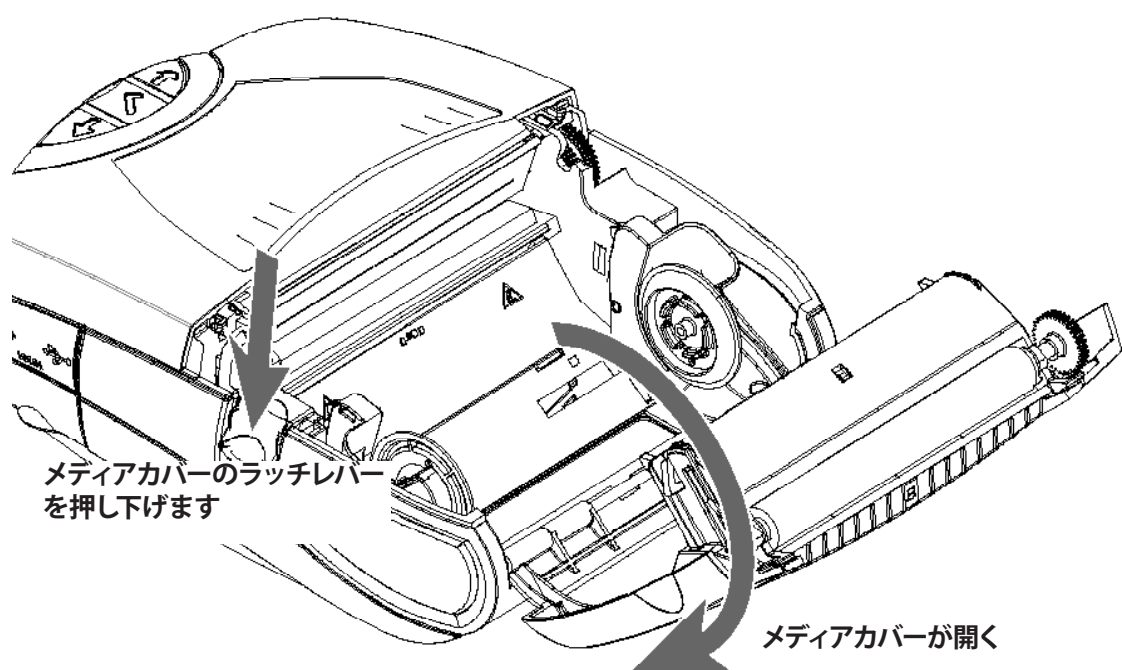


RP4T プリンタ	メンテナンス	仕様
マニュアルについて	P4T の概要	プリンタの接続
	プリンタの準備	無線通信規制情報
		付録
		索引

用紙の装填

P4Tシリーズプリンタは連続(ジャーナル)用紙、またはラベルストックの印刷を行うように設計されています。

図 7.1 - メディアカバーを開く

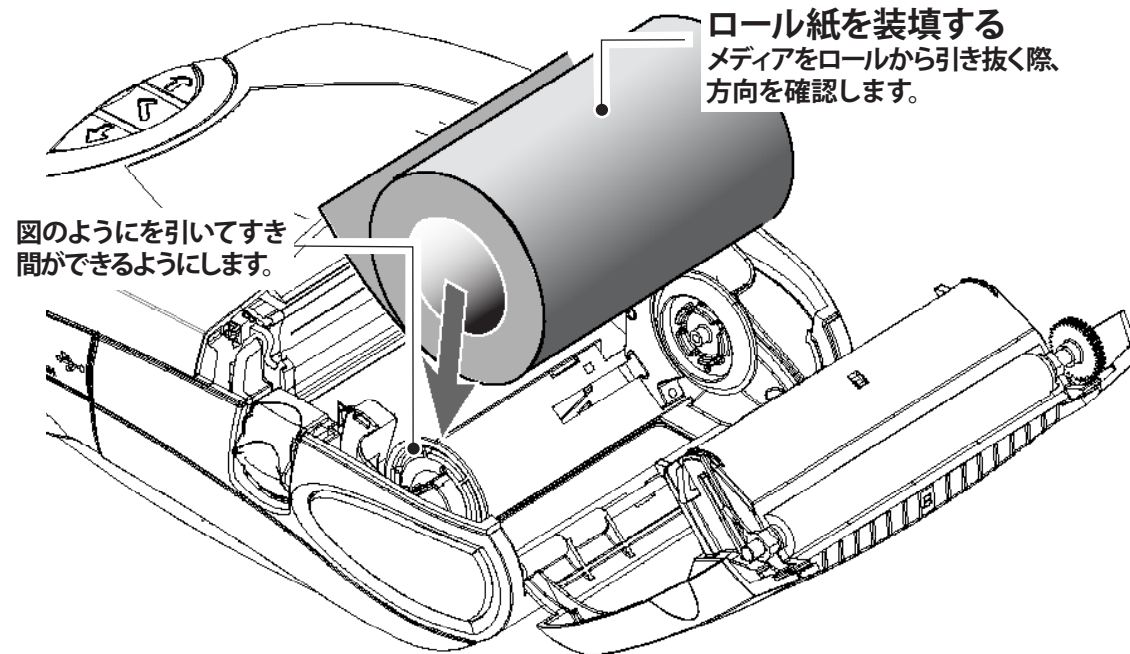


1. メディアカバーを開きます。

図 7.1 を参照してください。

- 上の図のように、プリンタ横のラッチ解放ボタンを押します。メディアカバーが自動的に開きます。
- 図のようにメディアカバーを完全に開くと、用紙コンパートメントおよび調整可能なメディアサポートが露出します。

図 7.2 - 用紙の装填



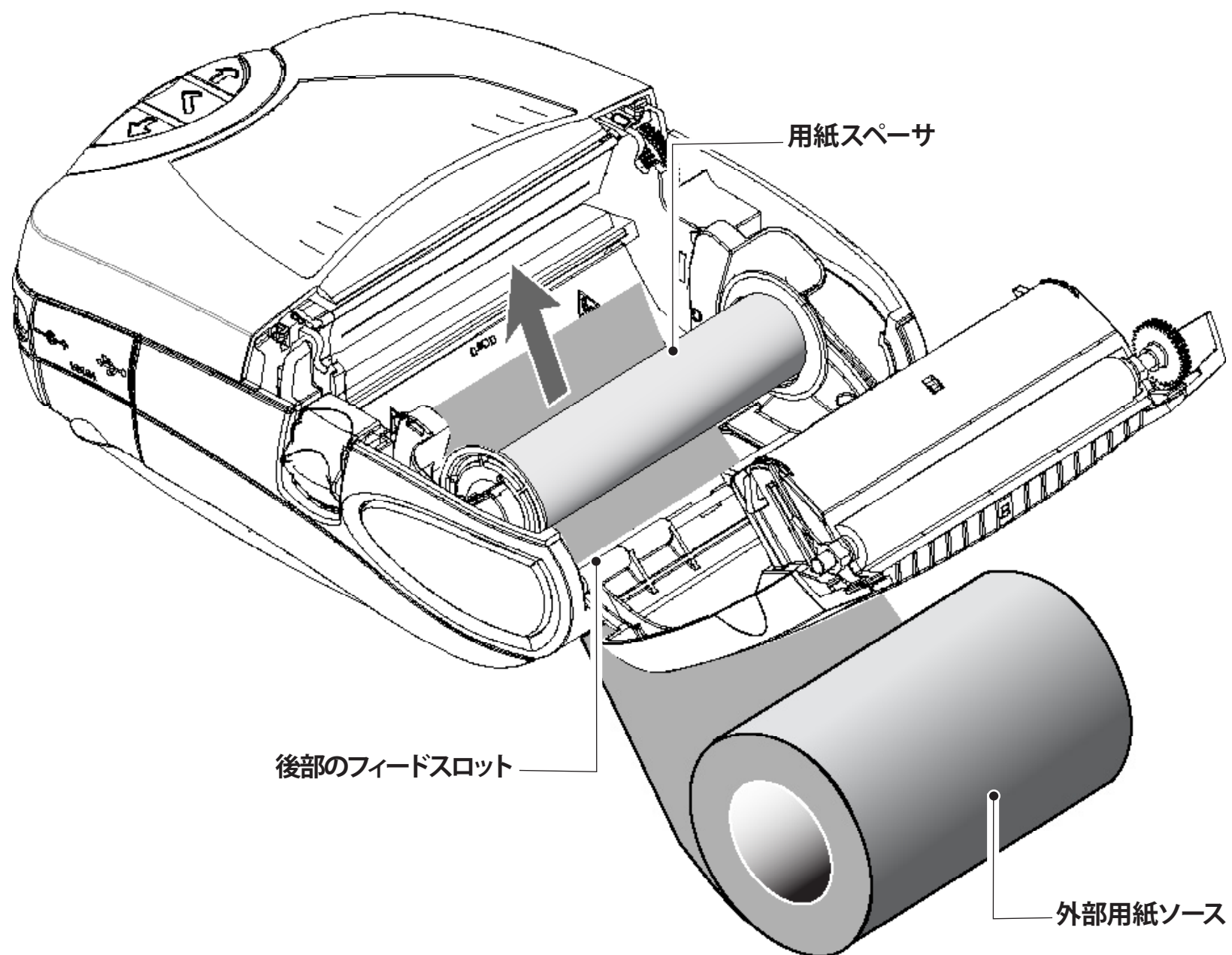
2. 内部供給からの用紙の装填

図 7.2 を参照してください。

- 図のようにメディアサポートを引いてすき間を作ります。
- メディアサポートの間にロール紙を挿入します。メディアサポートが自然に閉じます。図 7.2 および 7.4 で示す方向に、メディアが用紙が引き出されていることを確認します。サポートはメディアコンパートメント内のロール紙の中央であり、ロール紙がサポート上で自由に回転できることを確認します。

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

図 7.3 - 外部供給からの用紙の装填



3. 外部供給

図7.3を参照してください。外部用紙オプション設定のあるP4Tの場合、用紙コンパートメントの後部に取り付けスロットが付いており、標準 10.16 cm (4 インチ) 幅の連続式用紙またはロール紙を外部供給から使用することができます。外部供給は、プリンタに給紙される際に用紙が過度に引っ張られ、歪んで印刷されないことがないように設計されている必要があります。

- メディアサポートを引いてすき間ができるようにし、そのすき間に用紙スペーサ(Zebra 部品番号BA16625-1)を挿入した後、メディアサポートを離します。メディアサポートが自然に閉じます。
- 図示されるように、外部供給から後部のフィードスロットを通り、用紙ガイド間を抜けて用紙コンパートメントまで通るように用紙を挿入します。印字する用紙の面が印字ヘッド側に向くようにします。

RP4T プリンタ
マニュアルに
ついて

メンテナンス
P4T の概要

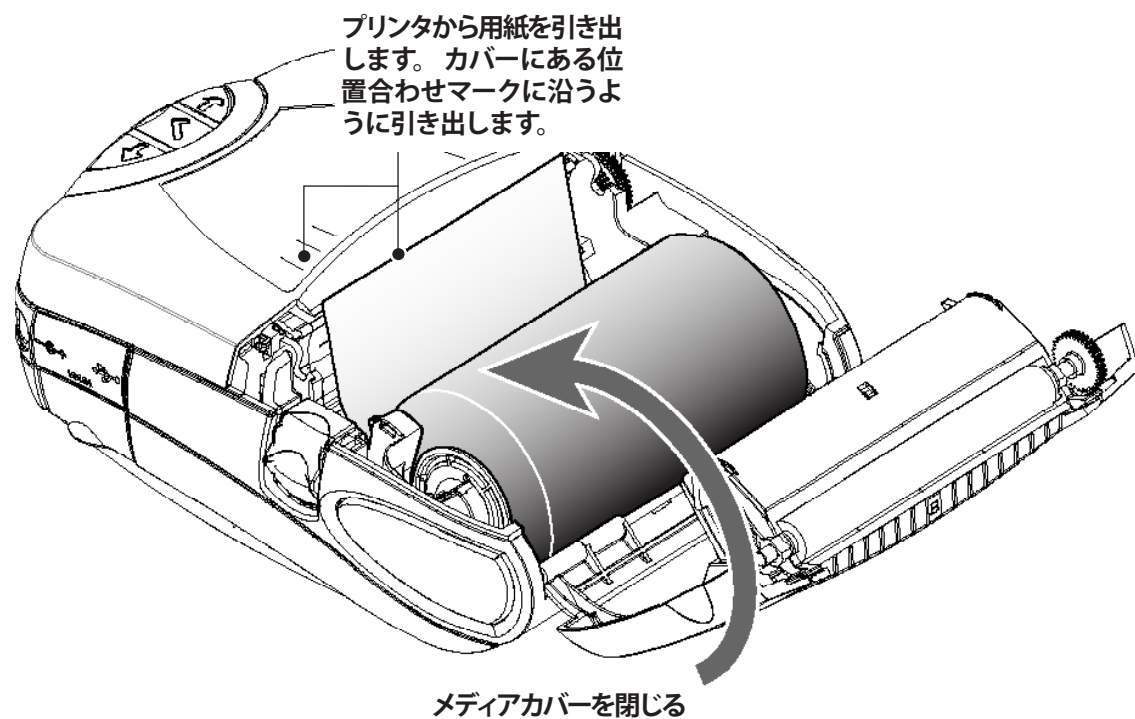
トラブルシューティング
プリンタの準備

仕様
プリンタの接続

付録
無線通信規制情報

索引

図 7.4 - メディアカバーを閉じる

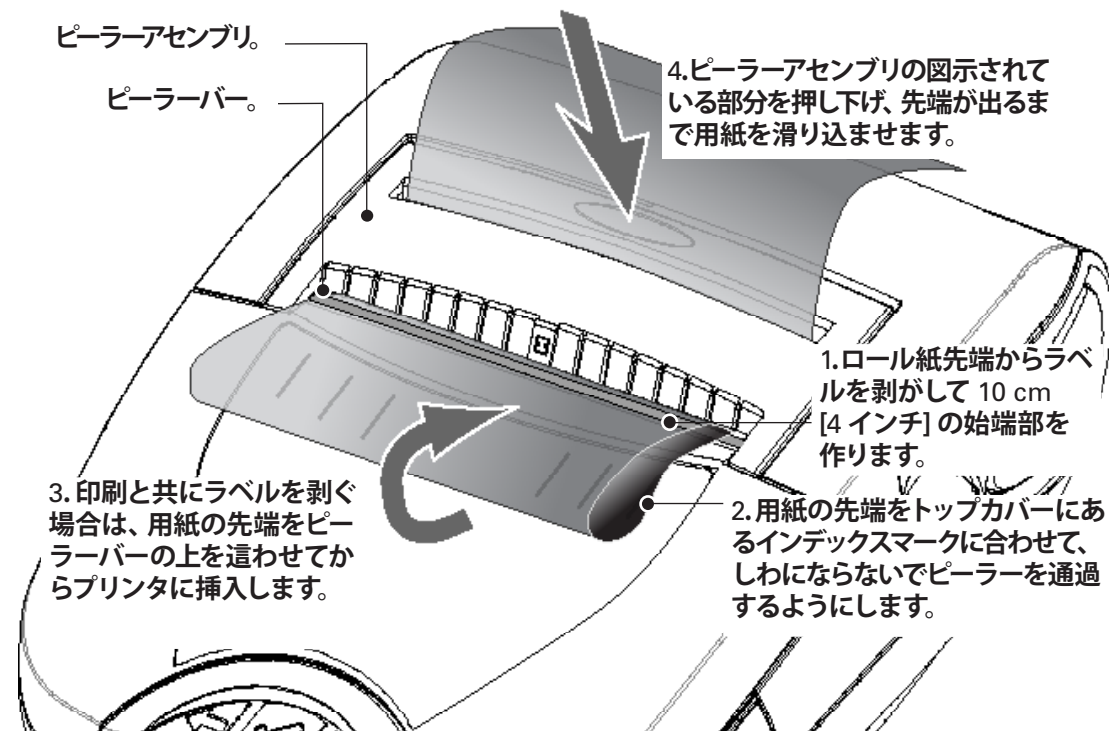


4. メディアカバーを閉じます。

図 7.4 を参照してください。

- 図のように、メディアをプリンタから引き出します。
- 図のように、メディアカバーを閉じ、カチッと音がしてはまる位置に固定させます。
- プリンタをオンにするか、またはプリンタがすでにオンになっている場合はフィードボタンを押します。
- プリンタが用紙を少しフィードします。これで、印刷準備が完了しました。

図 7.5 - メディアをピーラーに挿入する



5. ラベルピーラーの使用

ラベルストックを使用している場合のみのオプション手順

図 7.5 を参照してください。

ラベルピーラー機能により、裏紙から印刷済みラベルを自動的に分離できます。

1. ラベルピーラー機能を使うには、ロール紙から十分な数のラベルを取り除き、約 10 cm (4 インチ) の長さの始端部を作成します。
2. 用紙の先端をトップカバーにあるインデックスマークに合わせて、しわにならないでピーラーを通過するようにします。
3. 手順 1 で作成した用紙の先端をピーラーバーの上を這わせてからピーラーアセンブリに挿入します。
4. 図 7.5 に示すようにピーラーアセンブリを押します。図のように、用紙の先端をラベルピーラーに挿入し、ピーラーアセンブリの後部のスロットから出るまでロール紙を押します。
 - プリンタをオンにするか、またはプリンタがすでにオンになっている場合はフィードボタンを押します。
 - プリンタが用紙を少しフィードします。これで、印刷準備が完了しました。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

メディアサポートディスクの調整

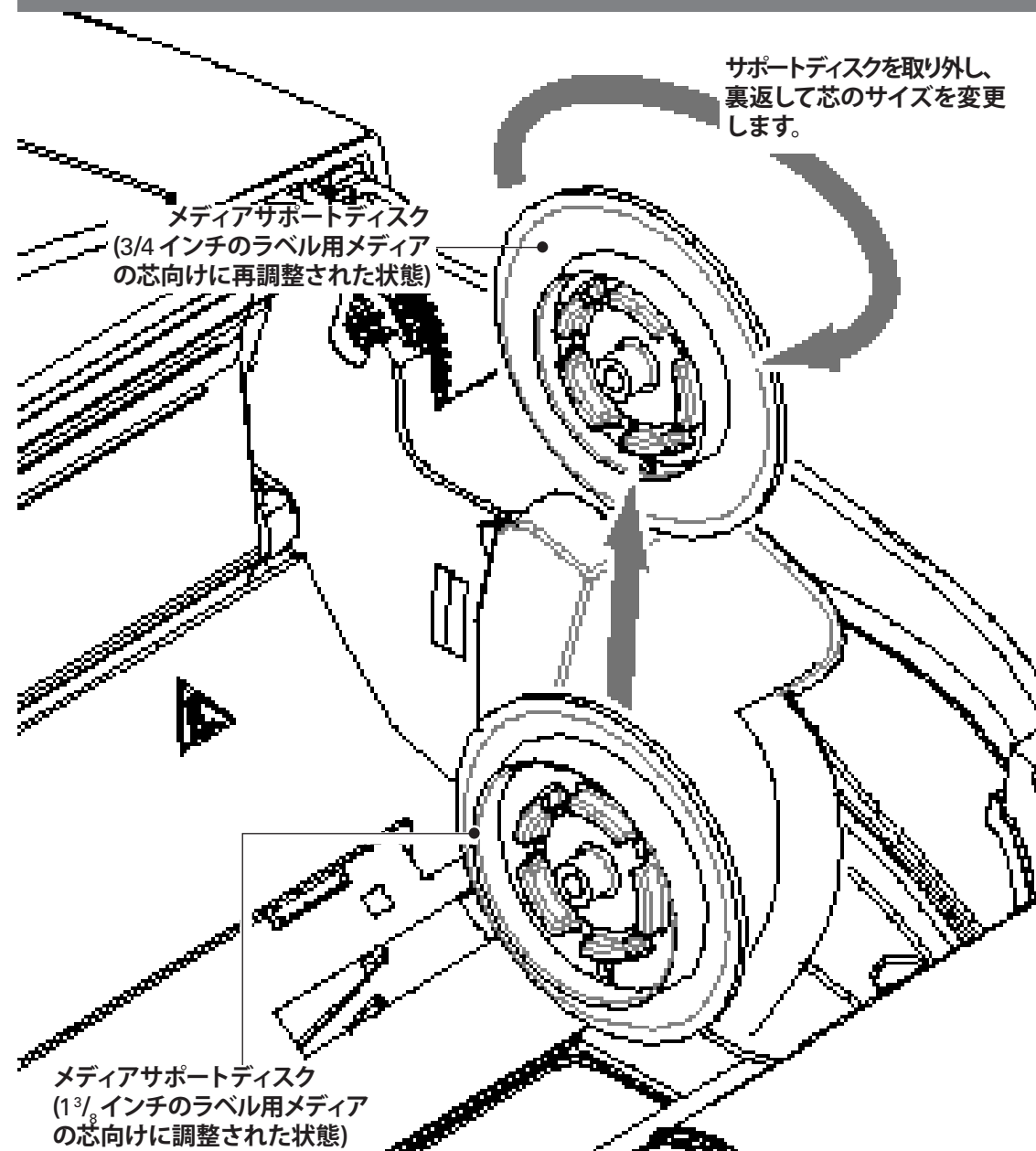
メディアの芯のサイズ

P4T シリーズプリンタ用のメディアは、用紙タイプによって芯のサイズが2種類あります。ジャーナル用紙や大半のラベル用紙は、ロールあたりのメディア量を最大にするために1.91 cm [0.75 インチ]の芯のサイズで提供されます。

P4Tプリンタのメディアサポートは出荷時には直径0.75インチの芯を持つメディアに設定されています。

RP4T プリンタ(RFID エンコーダ装備)は芯の直径が 3.505 cm [1.38 インチ]のメディアに合わせて設定されています。

図 8 - メディアの芯の直径の調整



メディアサポートの芯の直径の変更異なるメディアをできるようにするには、メディアの芯のサイズの変更が必要です。

メディアサポートディスクは両方のサイズのメディアの芯に合わせて設計されており、取り外して位置を動かし、プリンタに再取り付けすることで調整できます。

- 1.メディアカバーを開き、ラベル用紙を取り出します。
- 2.刃が長いプラスのねじ回しを使って、プリンタにサポートディスクを取り付けているネジがまわらないように押さえます。
- 3.取り付けねじが動かないように抑えながら、サポートディスクを回転させて取り外します。
- 4.望ましい芯の直径がプリンタの内側に面するように、メディアサポートディスクを裏返します。図8を参照してください。
- 5.取り付けねじ上で回転させて、サポートディスクを再固定します。サポートディスクを締めすぎないように注意してください。自由に回転できなくてはなりません。サポートディスクについてもこの手順です。

! 常に、両方のサポートディスクのメディアの芯が同じサイズになるように調節されていることを確認してください。

異なる芯のサイズに5回以上調整した場合は、メディアサポートディスクを交換してください。

RP4T プリンタ について	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	無線通信規制情報	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続			

リボンカートリッジの装填

図 9.1 - プリンタカバーを開く

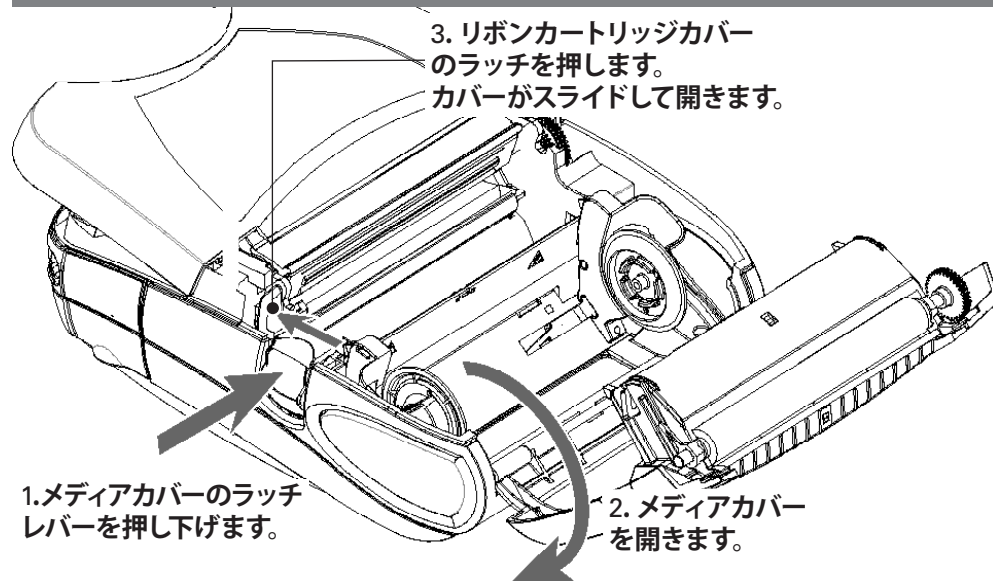


図 9.2 - リボンカートリッジを装填する

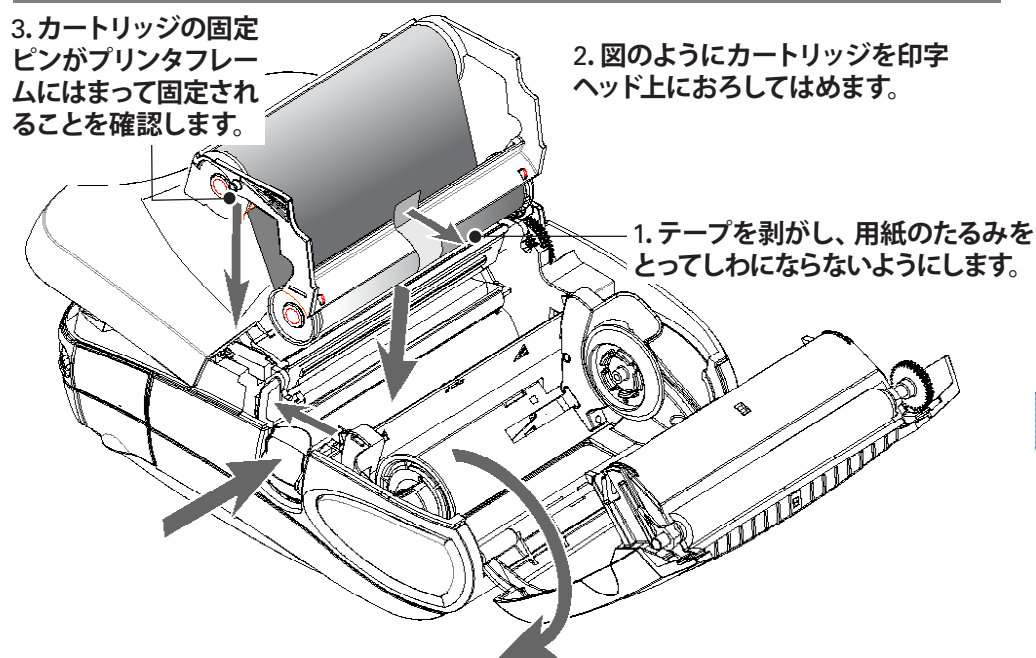
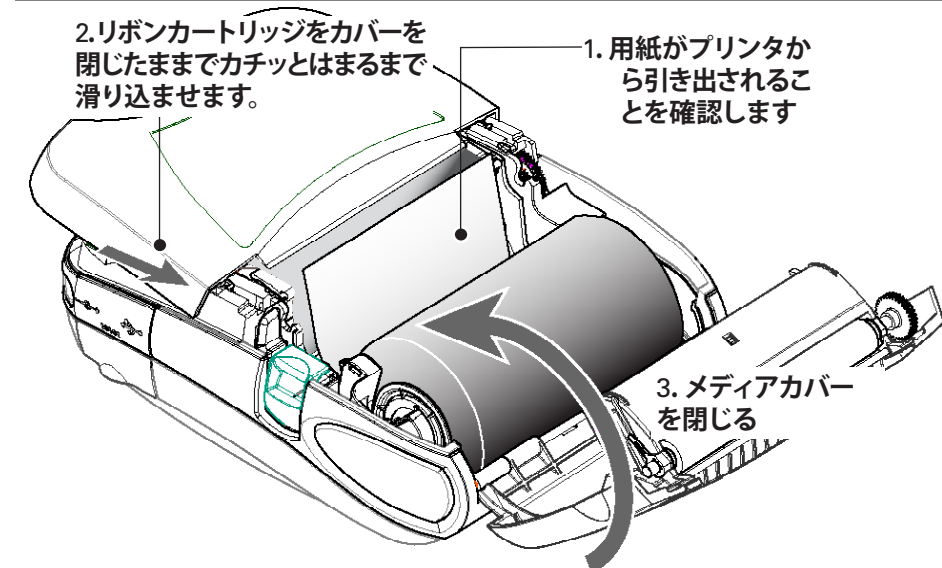


図 9.3 - プリンタカバーを閉じる



熱転写紙を必要とするメディアを使用する場合は、このステップを実行します。ジャーナルストックまたは感熱技術を使ってラベルを印刷するメディアを使用する場合は、この手順は無視してください。

1. プリンタカバーを開きます。

図 9.1 を参照してください。

- 図9.1の「1」のように、プリンタ横のラッチ解放ボタンを押します。メディアカバーが自動的に開きます。
- リボンカートリッジカバーのラッチを押します。カバーがスライドして開きます。

2. リボンカートリッジを装填します。

図 9.2 を参照してください。

使用するメディアに適した熱転写カートリッジを選択します。アプリケーションに適したメディアの選択については、Zebra 営業担当にお問い合わせください。

- 転写リボンを保持しているテープを取り外します。
- リボンカートリッジの2つのロールの間でメディアがピンと張った状態になるまで、巻き取りロールを回転させて転写リボンのしわを取り除きます。
- 適切なカートリッジを上から所定の位置に入れます。カートリッジの両側にある固定ピンはプリンタのフレームに入って固定される必要があります。

リボンカートリッジは、P4Tシリーズプリンタとの互換性を確認する安全装置で保護されています。サードパーティのカートリッジを使用するとプリンタが誤作動し、保証が無効になります。

3. プリンタカバーを閉じます。

図 9.3 を参照してください。

- まだの場合は、前述のようにラベルメディアを装填して、メディアが印字ヘッドを通過してプリンタから引き出されていることを確認してください。
- リボンカートリッジカバーがカチッとハマるまで滑り込ませて閉じます。

メディアカバーを閉じる前に必ずリボンカートリッジのカバーを閉じてください。

- メディアカバーを閉じて、所定の位置に固定させます。

RP4Tプリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4Tの概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

プリンタ コントロール オペレータ コントロール

プリンタのコントロールパネルには電源切り替えボタン、用紙フィードボタン、およびプリンタ機能やアプリケーションのプロンプトに関する情報を表示するディスプレイが付いています。2つのナビゲーションキーで簡単にメニューオプションを選択できます。

「進む(ScrollForward)」ボタンを使用すると、オプションや設定をスクロールできます。「戻る(ScrollBack)」ボタンで、前に表示したメニューに戻れます。「選択(Select)」ボタンを押すと、現在強調表示されているオプションやメニューを選択できます。

画面上部にあるステータスアイコンは、下の表にある様々なプリンタ機能の状態を示します。プリンタのステータスアイコンの詳細については、「[トラブルシューティング](#)」の項を参照してください。








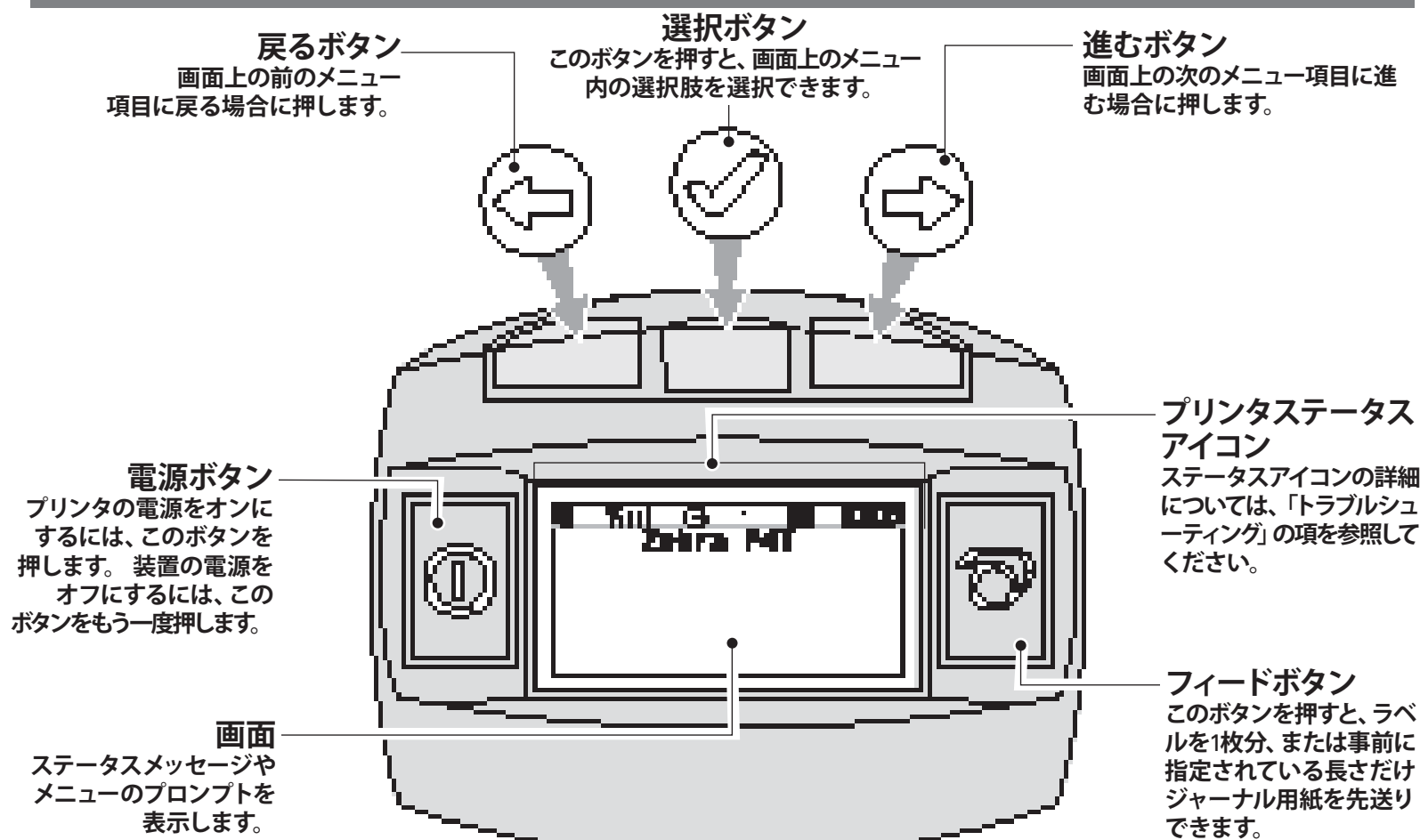

	Bluetooth接続が確立されていることを示します。このアイコンはBluetoothワイヤレスオプションがインストールされている P4T シリーズプリンタでのみ機能します。
	プリンタが802.11b/g準拠の無線通信を使用したワイヤレスLANに接続されていることを示します。このアイコンはBluetoothワイヤレスオプションがインストールされているP4Tシリーズのプリンタでのみ機能します。
	このアイコンが点滅している場合、プリンタがラベル用紙を検出できないことを示します。これは、用紙がないか、または用紙が不適切に装填されていることを意味しています。
	アイコンが点滅している場合、熱転写フィルムが消費しています。
	アイコンが点滅している場合、データがプリンタへ転送中であることを示します。
	バッテリーアイコンの外側のエレメントが点滅している場合、充電状態が低いことを示します。すべての印刷操作を中断し、すぐにバッテリーパックを充電または交換してください。
	バッテリーアイコン内の充電レベルエレメントが循環している場合、P4TシリーズのバッテリーがACアダプタによって充電中であることを示します。このマニュアルの充電器の項を参照してください。

図 10 - P4T シリーズプリンタのコントロール & LCD アイコン



 プリンタが、「PleaseReconditiontheBattery (バッテリーを再調整してください)」と表示し、警告音が5回鳴ったら、バッテリーを再調整して最適な動作に戻します。バッテリーを再調整するには、バッテリーを一晩中充電した後、低バッテリー状態になるまでプリンタを使用します。完全に充電されるまで、バッテリーを充電します。その時点で、バッテリーは再調整されます。バッテリーが適切に再調整されていないと、バッテリーの充電レベルは、実際に使用できるより高いレベルの充電が残っているように表示されます。プリンタに求められた通りに再調整を行うことで、バッテリーパックの全耐用期間を通して正確な容量が表示されます。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	プリンタの準備	仕様	無線通信規制情報	索引
------------------------	--------	---------	----	----------	----

プログラム可能 LCD 設定

コントロールパネルのLCDは、ステータスアイコンに加え、プリンタアプリケーションによって決定されるテキストとして多くのプリンタ設定と機能を表示できます。ユーザーがディスプレイのスクロールキーや選択キーを使ってこれらの設定を参照して修正できるようにアプリケーションを記述できます。プログラムして LCD で表示できるプリンタ機能の一部については、以下のページの表を参照してください。

LCDには、暗い環境で画面を見ることができるようにするバックライトオプションが付いています。また、明るい環境向けには、コントラストをはっきりさせることができます。ディスプレイのバックライトを使用すると、1回の充電でプリンタが稼働できる時間が短くなります。詳細は「バッテリー寿命を延ばす」の項を参照してください。

拡張 LCD 機能

機能	デフォルト設定	スクロール & 選択オプション
Sensor Type (センサータイプ)	Bar	<ul style="list-style-type: none"> • Bar • Gap
Baud Rate (ボーレート)	19200	<ul style="list-style-type: none"> • 9600 • 19200 • 32400 • 57600 • 115200
Data Bits (データビット)	8	<ul style="list-style-type: none"> • 7 • 8
Parity (パリティ)	N (なし)	<ul style="list-style-type: none"> • E (偶数) • N (なし) • O (奇数)
LCD Contrast (LCD コントラスト)	8	<ul style="list-style-type: none"> • 上昇 (最大 15) • 減少 (最大 15) • 減少 (最小 0)²
No-activity Timeout (操作なしのタイムアウト)	120 sec. (秒)	<ul style="list-style-type: none"> • 上昇 (最大 120)
Audio Volume (音量)	3	<ul style="list-style-type: none"> • 1 - 低 • 2 - 中 • 3 - 高
Media Type (用紙タイプ)	Journal	<ul style="list-style-type: none"> • Journal (ジャーナル) • Label (ラベル)
LCD Backlight (LCD バックライト) ³	Momentary On	<ul style="list-style-type: none"> • Momentary On w/ time delay (一時的にオン、遅延時間あり) • Off
Factory Reset (工場出荷時リセット: すべてを工場出荷時設定値にリセット)	No	<ul style="list-style-type: none"> • No • Yes

注記:

1: LCD メニューオプションは、それぞれ特定のアプリケーションコントロール下にあります。ご利用のプリンタのアプリケーションでは利用できないオプションもあります。

2: No-activity timeout 値が「0」の場合、オペレータがプリンタの電源がオフにするまで電源がオンのままであることを示します。

3: LCD バックライトは FEED (フィード) 以外のキーを押すとオンになります。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
	P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

キーパッドからコントロールされない表示機能

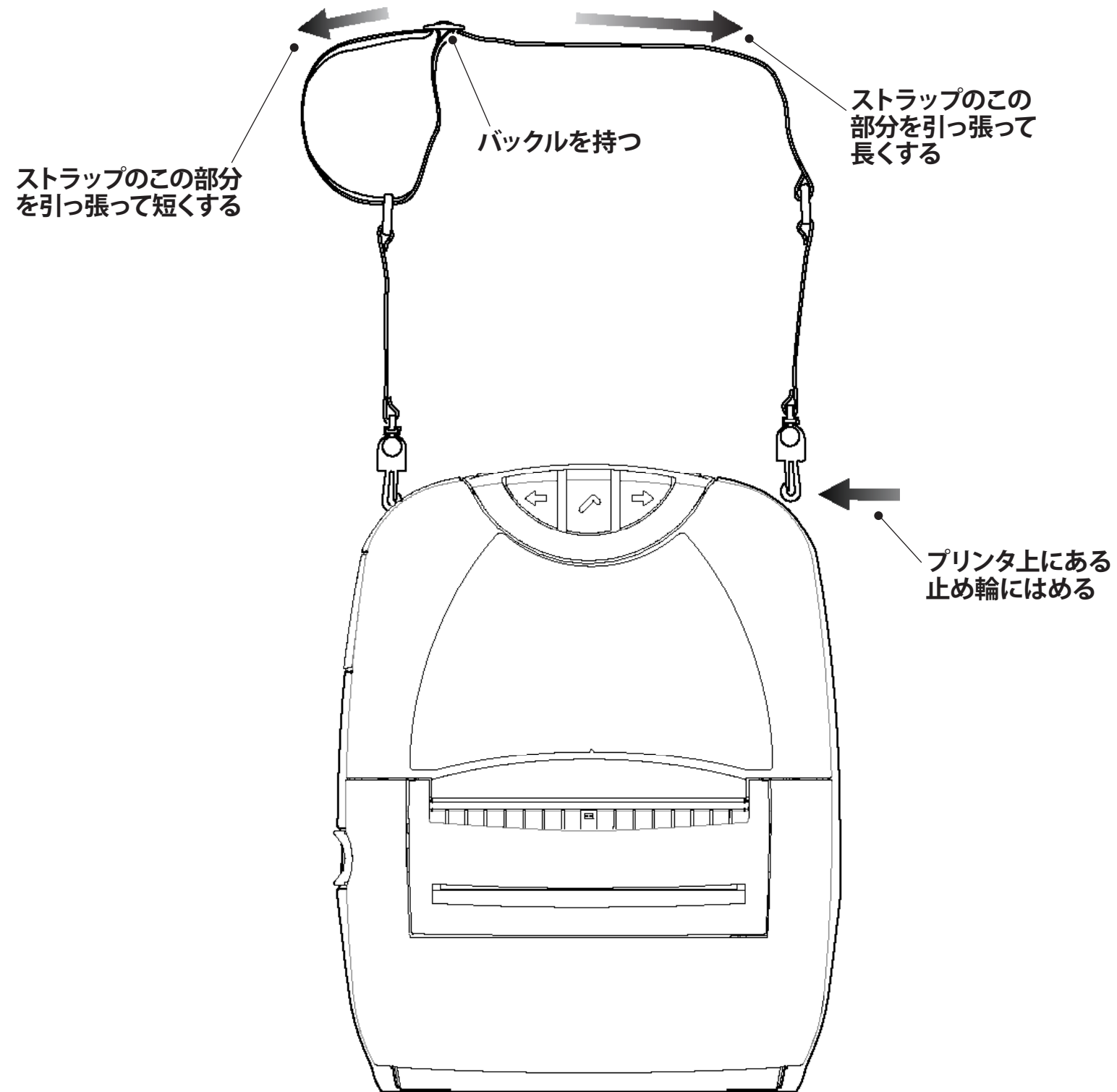
この表に示すパラメータはディスプレイに表示されますが、Zebra の LabelVista ラベル作成プログラムを実行している PC を使用しており、プリンタにデータケーブル接続されている場合にのみ設定を行うことができます。

機能	デフォルト設定	スクロール & 選択オプション
WLAN ID	工場設定値	N/A
Tear-off Position (切り取り位置: フォーム上部)	00	<ul style="list-style-type: none"> • 増加 (最大 = +10) • 減少 (最小 = -120)
Network & RF Settings (ネットワーク & RF 設定)		<ul style="list-style-type: none"> • All protocols On (すべてのプロトコルがオン) • 個別のプロトコルがオンまたはオフ
Bridge Mode (ブリッジモード)	Off	<ul style="list-style-type: none"> • Off • On
DTR/VBUS-Power Off (DTR/VBUS-電源オフ)	Off	<ul style="list-style-type: none"> • On • Off
Present-at (表示位置)	000	<ul style="list-style-type: none"> • 増加 (最大 = +120) • 減少 (最小 = 000)
Bluetooth parameters (Bluetooth パラメータ)	該当無し	現在の Bluetooth 操作パラメータを表示
802.11g operating parameters (802.11g 操作パラメータ)	該当無し	現在の 802.11g WLAN 操作パラメータを表示
Media Type (用紙タイプ)	Journal	<ul style="list-style-type: none"> • Journal (ジャーナル) • Label (ラベル)

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング プリンタの準備	仕様 プリンタの接続	付録 無線通信規制情報	索引
----------------------------	--------	------------------------	---------------	----------------	----

長さ調整式ショルダーストラップ

図 11 - ショルダーストラップ



上図を参照してください。ショルダーストラップの両端をプリンタ上面の止め輪にはめます。バックルを持って、図に示すようにストラップの長さを調節します。

マニュアルについて	RP4Tプリンタ
P4Tの概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

プリンタが動作するか確認する

プリンタをコンピュータまたは携帯データ端末に接続する前に、プリンタが適切な動作状態であるかどうかを確認してください。動作を確認するには、2つのキーセットを使用してコンフィグレーションラベルを印字します。このラベルを印刷できない場合、このマニュアルの「トラブルシューティング」の項を参照してください。

コンフィグレーションラベルの印字

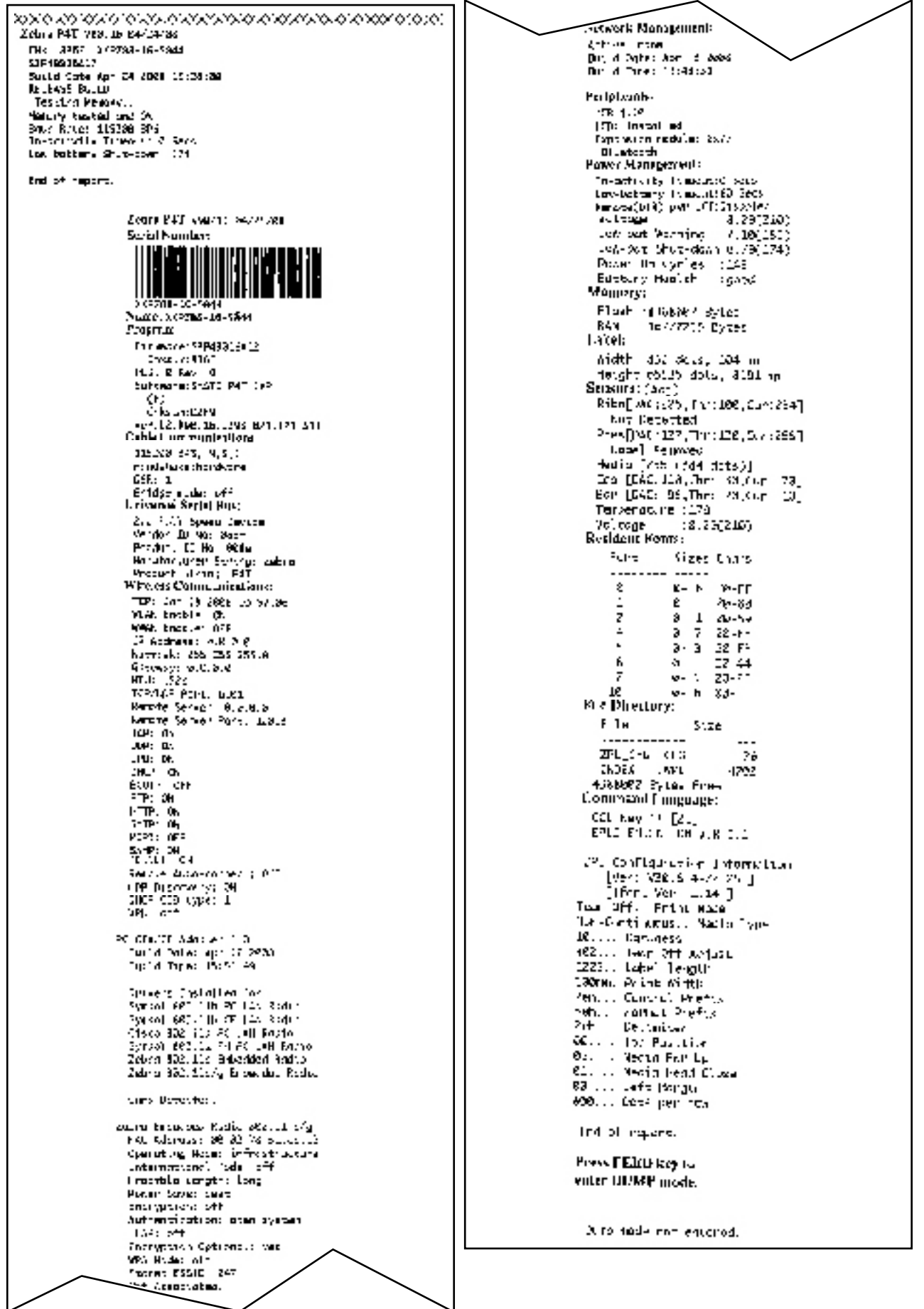
1. プリンタの電源をオフにします。用紙コンパートメントにジャーナル用紙(背面にブラックバーが印字されていないもの)を装填します。
2. フィードボタンを押したままにします。
3. フィードボタンを押したまま電源ボタンを押して離します。印字が開始されたら、フィードボタンを離します。

セルフテストでは、印字ヘッドのすべての元素が動作することを確認できるように、「x」文字が連続して印刷され、プリンタにロードされているソフトウェアのバージョンが印刷された後、2つのレポートが印刷されます。

最初のレポートにはモデル、ROMバージョン、シリアル番号、ボーレートなどが印刷され、第2のレポートにはプリンタ設定およびパラメータ設定の詳細情報が印刷されます。第2レポートが出力されない場合は、いずれのアプリケーションもインストールされていません。

診断ツールとしてのコンフィグレーションラベルの使用の詳細は、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

図 12 - P4T シリーズプリンタのコンフィグレーションラベルのサンプル



マニュアルについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

プリンタの接続

プリンタと印刷されるデータの送信先となるホスト端末との間に通信を確立する必要があります。通信は次の3つの基本的な方法で行われます:

- RS232C または USB プロトコルの使用によるプリンタとホスト端末間のケーブル接続
- Bluetooth 短距離 RF 接続
- 802.11b/g 仕様準拠のワイヤレス LAN 接続

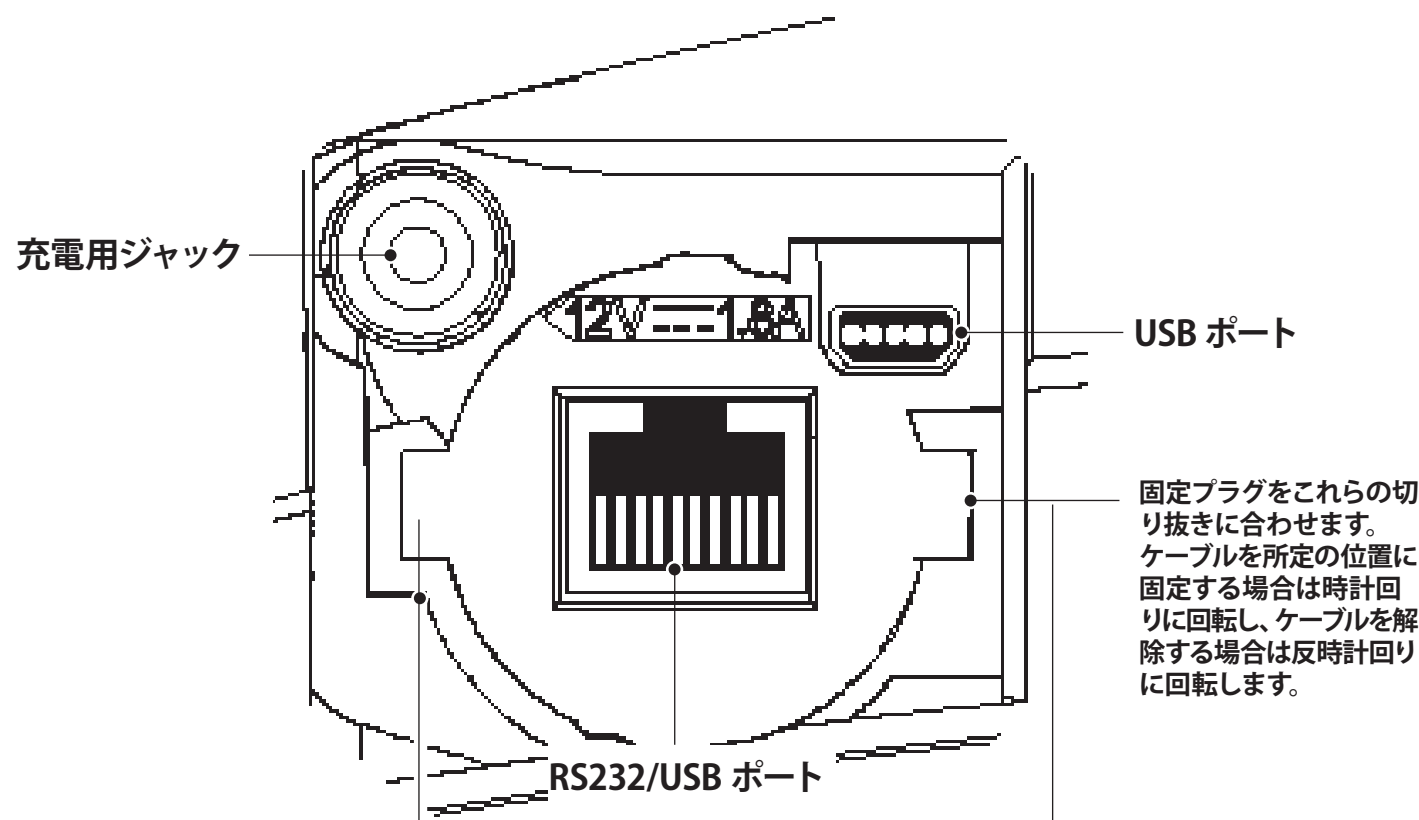
ケーブル通信

注意・通信ケーブルに接続または接続を切断する前にプリンタをオフにする必要があります。



注記・すべてのP4Tシリーズプリンタではケーブル通信が可能です。ご利用のプリンタに付属している特定のケーブルはホスト端末によって異なります。

図 13 - P4T シリーズ通信ポート



シリアル (RS232C) または USB ポート

通信ケーブルの10ピンモジュラーコネクタは、プリンタ側面のRS232C/USB通信ポートに接続されます。両方の通信ポートへの信号とピンの割当は、このマニュアルの仕様の項に記載されています。

このポートで使われるプロトコルは、使っている通信ケーブルで決定されます。P4Tシリーズで提供される通信ケーブルの詳細は付録Aを参照してください。

コネクタを RS232C ポートに接続し、所定の位置で固定されることを確実にします。

ケーブルのもう一方の端は、図14で示すようにホスト端末に接続するか、または、図15で示すようにコンピュータのシリアルポートに接続しなければなりません。

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	無線通信規制情報	索引
P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続			

USB

P4T シリーズプリンタの RS232C ポートの右上には、USB タイプ B ポートもあります。(図 13 参照)

USB ポートは USB Open HCI インターフェイス ドライバで設定され、Windows® ベースの機器と通信を行うことができます。USB ドライバは www.zebra.com からダウンロード可能な Zebra ユニバーサルドライバに含まれています。その他の端末または通信機器については、USB 接続を使用するための特別なドライバのインストールが必要となる場合があります。詳細は Zebra 販売代理店または出荷元にお問い合わせください。

図 14 - 端末への接続

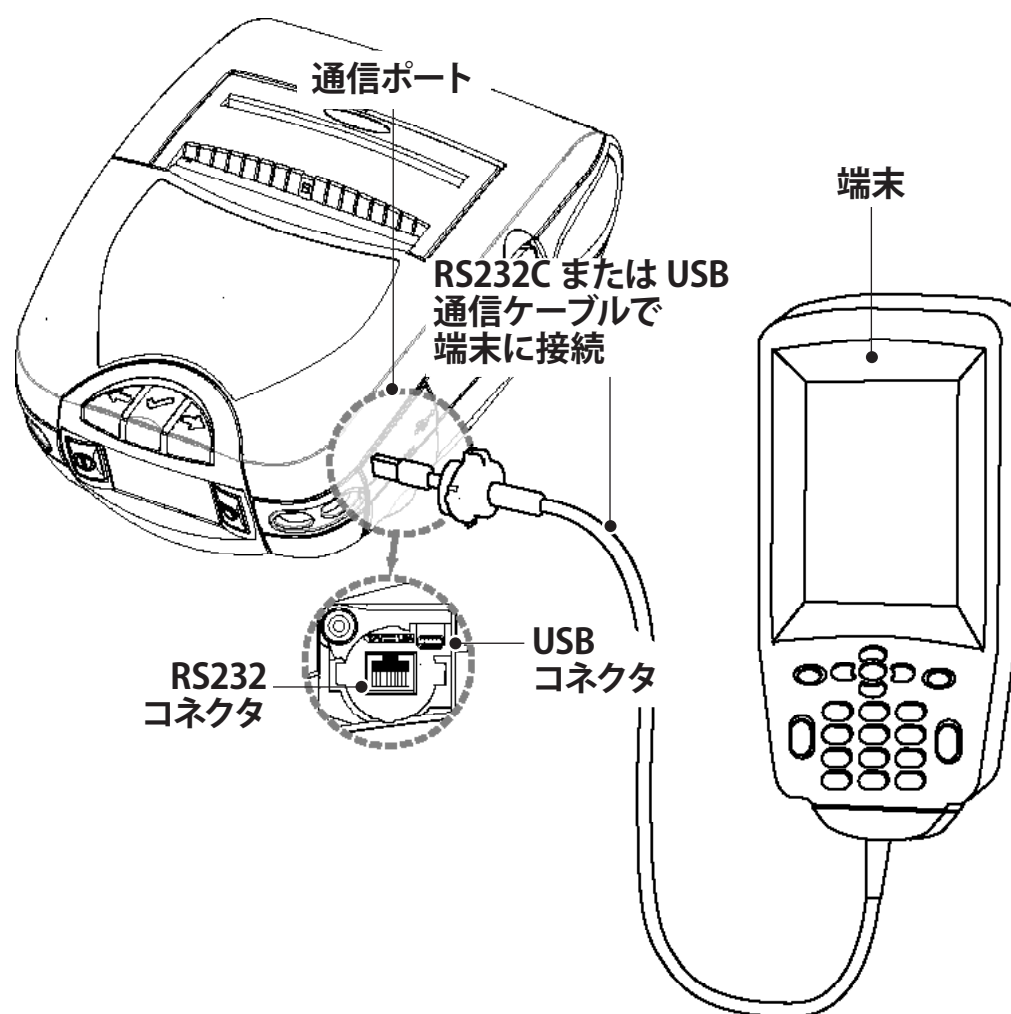
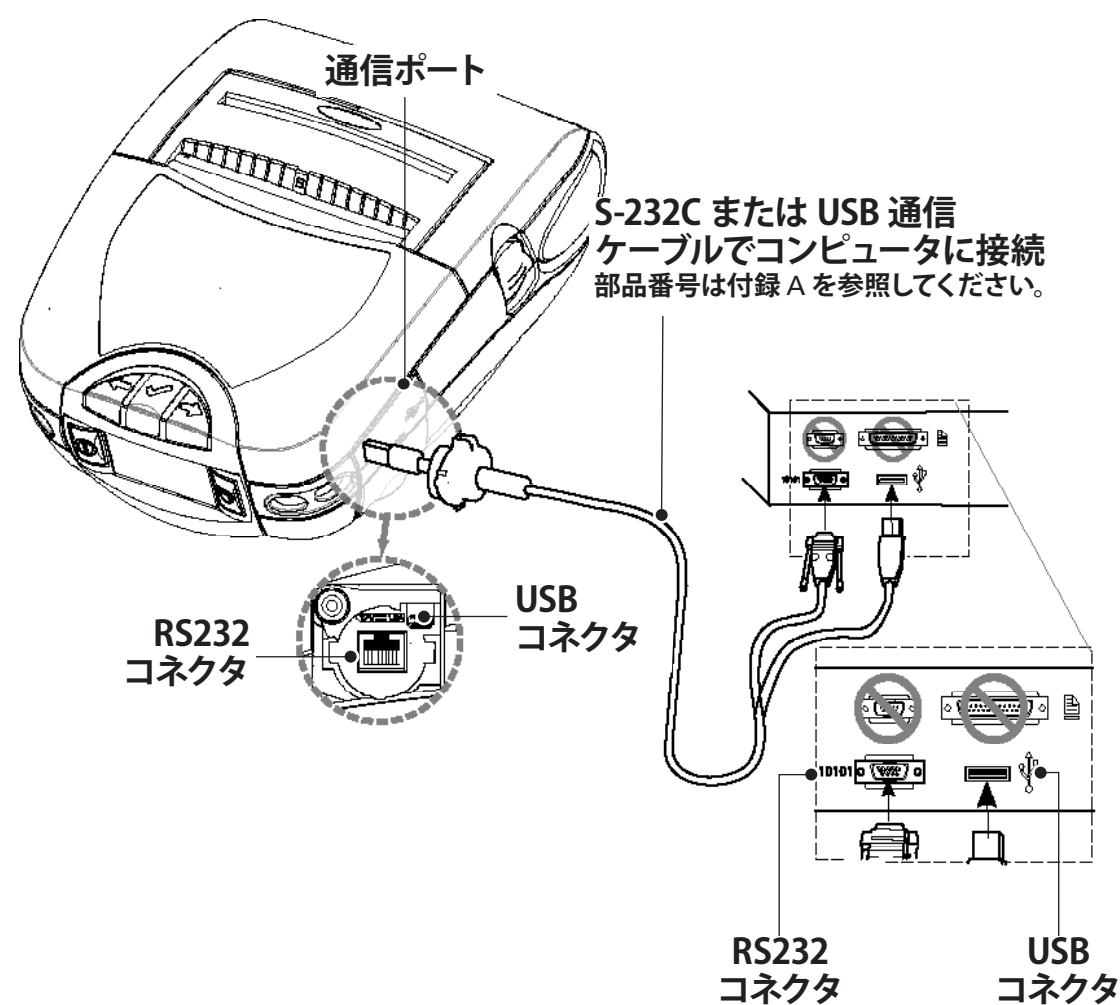


図 15 - PC への接続

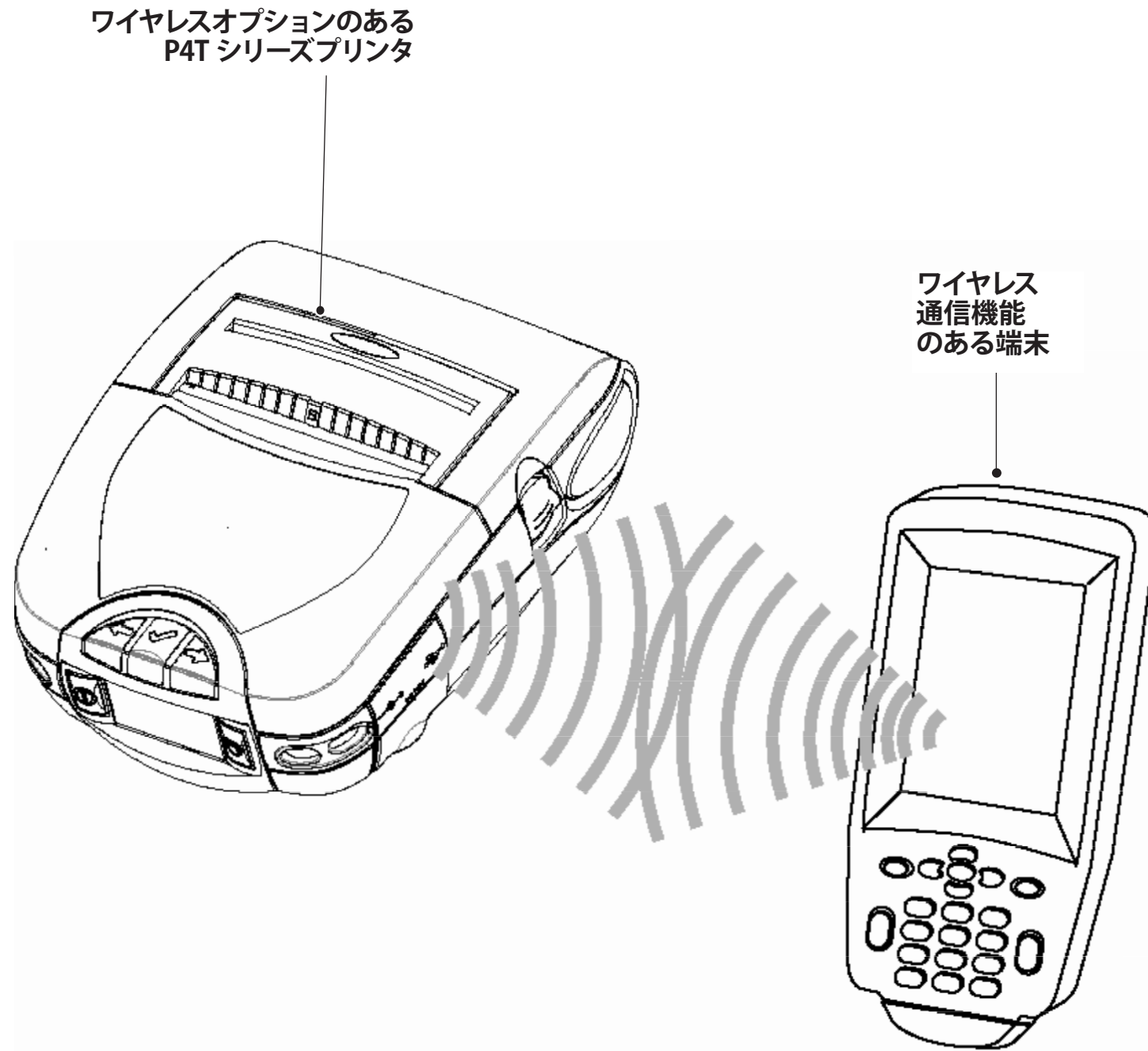


RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続			

プリンタのワイヤレス接続

P4Tシリーズプリンタにワイヤレスオプションがあれば、端末またはワイヤレスネットワーク(WLAN)にワイヤレスで接続できますプリンタのワイヤレス通信の設定方法は、 www.zebra.com/manuals の『Mobile Printer Wireless Configuration Guide』を参照してください。

図 16 - 端末へのワイヤレス接続



マニュアルについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラバリュエーション
仕様の接続	プリンタの接続
無線通信規制情報	付録
	索引

ワイヤレス通信

Bluetooth®によるワイヤレス通信

Bluetoothは、無線周波数を介した 2 つの機器間のデータ転送の世界標準規格です。Bluetooth 無線通信は比較的低電力であり、同様の無線周波数で動作する他の機器との干渉を防ぐのに役立ちます。これにより、Bluetooth 機器の範囲は約 10 メートル (約 32 フィート) に制限されます。プリンタと通信先の機器がともに Bluetooth 標準規格に準拠している必要があります。

Bluetooth ネットワークの概要

Bluetooth 対応 P4T シリーズ プリンタには、それぞれ製造時に固有の Bluetooth Device Address (BDA) が無線モジュールに搭載されています。

Bluetoothソフトウェアは、常時バックグラウンドで動作し、接続要求に応答できる準備ができています。1つの機器(「マスター」または「クライアント」)側から、通信先に接続を要求します。2番目の機器(「スレーブ」または「サーバー」)は、接続を許可または拒否します。Bluetooth 対応 P4T シリーズプリンタは、通常スレーブとして「piconet」と呼ばれる端末とのミニネットワークを構築します。

大部分では Bluetooth を使用する通信が開始され、オペレータの介入なしに処理されます。

P4T シリーズプリンタには Bluetooth および 802.11b/g 無線通信が搭載されており、Bluetooth 対応機器とワイヤレス LAN (WLAN) の両方の通信が可能です (以下を参照)。

ワイヤレス LAN の概要

P4T シリーズプリンタには業界標準の 802.11b または g の WLAN プロトコルを使用するいくつかの無線オプションが搭載されているものもあります。

- Zebra 802.11b/g WLAN 無線モジュール搭載の P4T シリーズワイヤレスネットワークプリンタは、プリンタの背面にあるシリアル番号ラベルの製品構成コード(PCC)で識別できます。このオプションを持つプリンタは、PCCコードの7番目の文字が「K」です。また、このオプションを持つプリンタは、FCC ID: I28-PLAN11BG、またはカナダ規格 ID: 3798B-PLAN11BG (北米地域用に作られたプリンタ向け) でも識別できます。
- 802.11b WLAN と Bluetooth 無線の両方を同一のプリンタで稼動可能なP4Tプリンタはデュアル無線機器と見なされます。このオプションを持つプリンタは、PCC コードの 7 番目の文字が「K」です。



RP4Tモデルのプリンタは、802.11g/Bluetooth デュアル無線オプションとして構成することはできません。

そのようなデュアル無線装備のP4TユニットはFCCID:I28-ZB4LAN-01 およびカナダ規格 ID: 3798B-ZB4LAN01です。北米地域向けに製造されたプリンタのシリアル番号ラベルには、無線構成に対するFCC や IC の ID 番号も記載されています。



製品構成コードの位置に関する詳細情報は、このマニュアルの付録 D を参照してください。

802.11b/g無線オプションのどちらかを搭載したプリンタでは、WLAN内のノードとしてのワイヤレス通信が可能であり、その無線機能に応じてWLAN 周辺の任意のポイントからの通信が可能となります。デュアルBluetooth/802.11b/gWLAN無線通信設定が搭載されているP4Tプリンタは、WLAN と Bluetooth ネットワークの両方に同時に接続できます。

P4T シリーズ プリンタと通信を確立する方法は LAN アプリケーションによって異なります。WLAN 通信の確立に関する一般情報は、『CPCL Programmers Manual』または『Quick Start Guide for Mobile Wireless Printers』に記載されており、どちらも Zebra Web サイト (www.zebra.com/manuals) で参照していただけます。詳細情報および LAN 構成ユーティリティは、Zebra の Label Vista™ プログラム (バージョン 2.8 以降) にて参照していただけます。Label Vista の最新バージョンは Zebra の Web サイト からダウンロードできます。

ソフトウェアのセットアップ

P4T シリーズプリンタは、モバイル印刷アプリケーション用に設計された Zebra の CPCL プログラミング言語を使用します。CPCL は Zebra Web で提供されている「CPCL Programmers Manual」で詳細に説明されています。

また、Label Vista™もご使用いただけます。Label Vista™は Zebra の Windows ベースのラベル作成プログラムで、グラフィカルインターフェースを利用して CPCL 言語のラベルの作成や編集を行なえます。

すべてのP4TシリーズプリンタはZPLIIプログラミング言語のインタープリタをサポートしています。RP4Tプリンタ (RFIDエンコード/読み取り機能付き) は ZPL プログラミング言語の RFID コマンドを数多く使用します。

ZPL II を使用する場合は、Zebra の Web サイトからオンラインで入手可能な各プログラミングガイドを参照してください。

ワイヤレス機能を搭載したプリンタをお持ちの場合、Zebra の Web サイトから入手可能な『Wireless Configuration Guide』も参照してください。サードパーティのラベル作成システムを使用する場合は、各パッケージに含まれているインストール手順に従ってください。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラoubleshooting	仕様	無線通信規制情報	索引
P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続			

無線通信規制情報

Bluetooth ZBR4 無線

以下の項は Bluetooth ZBR4 モジュールを P4T シリーズプリンタに取り付けた場合にのみ適用されます。この無線設定は、FCC 規制準拠を実証しています。北米で販売されている本構成の P4T シリーズプリンタの背面のラベルには、FCC ID: I28-MD-ZBR4WA およびカナダ規格 ID: 3798B-ZBR4WA (無線モジュール用) が記載されています。



注意・高周波への暴露。

この内蔵 Bluetooth 無線の放射量は FCC 無線周波暴露制限を大幅に下回っています。内蔵 Bluetooth 無線は無線周波安全推奨基準内で動作します。プリンタは、不正な方法で使用しないでください。



注記・以下の項は ZBR4 Bluetooth 無線を P4T シリーズプリンタに取り付けた場合にのみ適用されます。本書内で別の記載がない限り、この通信機用のアンテナをその他のアンテナと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。

欧州規制情報

この機器は EU および EFTA の全加盟国における使用を意図しています。
 ヨーロッパ - EU 適合宣言書
 この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC に準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています:

- EN 60950: 2000 情報技術機器の安全
- EN 300 328-2 V1.4.1 (2003-04) スプレッド-スペクトル無線装置の技術的要件
- EN 301 489-1/-17 V1.4.1/1.2.1 (2002-08) スプレッド-スペクトル無線装置の EMC 要件

この機器は、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした 2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。



重要事項:
 この機器は EU および EFTA の全加盟国における業務使用を目的としたモバイル RF プリンタです。

802.11b/g 無線を使用した WLAN モジュール

以下の項は 802.11b/g WLAN モジュールを P4T シリーズプリンタに取り付けた場合にのみ適用されます。本書内に別記の条件がない限り、無線通信オプションは同時に1つだけプリンタにインストールすることができます。また、この通信機に使用されるアンテナをその他のアンテナと同じ場所に配置したり、同時に使用したりしないでください。

北米で販売されている P4T シリーズプリンタの背面のラベルには 802.11b/g 無線 FCC ID: I28-PLAN11BG、またはカナダ規格 ID: 3798B-PLAN11BG が印刷されています。



注意・この内蔵 802.11b/g WLAN 無線の放射量は FCC 無線周波暴露制限を大幅に下回っています。内蔵無線は無線周波安全推奨基準内で動作します。プリンタは、不正な方法で使用しないでください。

この無線通信に関するヨーロッパ規制情報

AT	BE	CY	CZ	DK
EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT
LU	MT	NL	PL	PT
SK	SI	ES	SE	GB

注記:-この機器の使用について規制を課している EU 加盟国には取り消し線が引かれています。
 また、この機器は EFTA の全加盟国での使用も認可されています(CH, IS, LI, NO)



重要事項:
 この機器は使用が規制されているフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国での業務使用を目的としたモバイル RF プリンタです。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	無線通信規制情報
P4T の概要				
				付録
				索引

ヨーロッパ - EU 適合宣言書

この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC に準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています:

- EN55022:1998

欧州排出規格

- EN 60950: 2000

情報技術機器の安全

- EN 300 328-2 V1.2.1 (2001-12)

拡散スペクトル無線機器の技術要件

- EN 301 489-17 V1.2.1 (2002-08)

拡散スペクトル無線機器の電磁両立性要件

この機器は、使用が規制されているフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした 2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。

フランスでは、この周波数帯の使用は制限されています。以下の表に示す 1-13 (2412-2472 MHz) を使用できるフランス局を除いて、フランス領ではチャンネル 10 と 11 (2457 と 2462 MHz) のみを使用できます。詳細は <http://www.anfr.fr/> または <http://www.art-telecom.fr>

01	Ain	36	Indre	69	Rhône
02	Aisne	37	Indre-et-Loire	70	Haute-Saône
03	Allier	39	Jura	71	Saone et Loire
05	Hauts-Alpes	41	Loir-et-Cher	72	Sarthe
08	Ardennes	42	Loire	75	Paris
09	Ariège	45	Loiret	77	Seine-et-Marne
10	Aube	50	Manche	78	Yvelines
11	Aude	54	Meurthe-et-Moselle	79	Deux-Sèvres
12	Aveyron	55	Meuse	82	Tarn-et-Garonne
16	Charente	57	Moselle	84	Vaucluse
19	Corrèze	58	Nièvre	86	Vienne
2A	Corse-du-Sud	59	Nord	88	Vosges
2B	Haute-Corse	60	Oise	89	Yonne
21	Côte-d'Or	61	Orne	90	Territoire de Belfort
24	Dordogne	63	Puy-de-Dôme	91	Essonne
25	Doubs	64	Pyrénées-Atlantiques	92	Hauts-de-Seine
26	Drôme	65	Hauts-Pyrénées	93	Seine-Saint-Denis
27	Eure	66	Pyrénées-Orientales	94	Val-de-Marne
32	Gers	67	Bas-Rhin		
35	Ille-et-Vilaine	68	Haut-Rhin		

802.11b/g 無線に関する中華人民共和国規制情報

經型式認證合格之低功率射頻電機,非經許可,公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信;經發現有干擾現象時,應立即停用,並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信,指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

「低電力無線波放射装置に関する管理規制」に準拠。企業、またはユーザーは、DGT が付与する許可なしに、周波数の変更、転送出力の増幅、あるいは元の特性や承認を受けた低出力無線周波数装置の変更を行うことはできません。低出力無線周波数装置は航空機の安全に影響を与えたり、合法的な通信に干渉しないこと。もし干渉が発見された場合、ユーザーは非干渉が達成されるまで、ただちに使用を停止しなければなりません。ここで言う合法的な通信とは、通信法に準拠して使用されている無線通信を意味しています。低出力無線周波数装置は、合法的な通信または ISM 電波を発する装置からの干渉を受け入れなければなりません。

マニュアルについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

802.11b/g および Bluetooth 併用無線通信モジュール

以下の項は、CF (Compact Flash) WLAN モジュールおよびBluetooth ZBR4 モジュールを P4T プリンタに取り付けた場合にのみ適用されます。この併用無線通信設定は、FCC規制準拠を実証しています。北米で販売されているこの設定の P4T プリンタの背面のラベルには FCC ID: I28-ZB4LAN-01 およびカナダ規格 ID: 3798B-ZB4LAN01 が印刷されています (無線設定用)。



注意・ZBR4 Bluetooth 無線モジュールおよび 802.11b/g WLAN 無線モジュールを併用する P4T プリンタの使用は、最低限の距離を保つ必要がなく標準的な身体装着設定での無線周波 (RF) 放射暴露の FCC 要件に適合しなければなりません。ベルトクリップまたはショルダーストラップの使用に適用されるこの設定では、用紙が給紙されるプリンタの表面がユーザーの身体と逆方向を向くようにします。プリンタを身体に装着する場合は標準設定が常に使用されます。



この無線設定の放射量は FCC 無線周波暴露制限を大幅に下回っています。内蔵 Bluetooth および 802.11b/G 無線は共に無線周波数に関する安全推奨基準内で動作します。プリンタは、不正な方法で使用しないでください。

RP4T プリンタは、この無線オプションを使用できるように設定されていません。

Compact Flash 802.11b および Bluetooth 併用無線通信モジュールに関するヨーロッパ規制情報

AT	BE	CY	CZ	DK
EE	FI	FR	DE	GR
HU	IE	IT	LV	LT
LU	MT	NL	PL	PT
SK	SI	ES	SE	GB

注記: -この機器の使用について規制を課している EU 加盟国には取り消し線が引かれています。また、この機器は EFTA の全加盟国での使用も認可されています (CH、IS、LI、NO)

ヨーロッパ - EU 適合宣言書

この機器は R&TTE 指令 1999/5/EC の必須要求に準拠しています。R&TTE 指令 1999/5/EC に準拠していることを証明するため、以下の試験方法が適用されています:

- EN 60950: 2000

情報技術機器の安全

- EN 300 328-2 V1.2.1 (2001-12)

拡散スペクトル無線機器の技術要件

- EN 301 489-17 V1.2.1 (2002-08)

拡散スペクトル無線機器の電磁両立性要件

この機器は、使用が規制されているフランスを除く、EU および EFTA の全加盟国における室内および業務使用を目的とした 2.4 GHz ワイヤレス LAN 通信機です。フランスでは、この周波数帯の使用は制限されています。以下の表に示す 1-13 (2412-2472 MHz) を使用できるフランス局を除いて、フランス領ではチャンネル 10 と 11 (2457 と 2462 MHz) のみを使用できます。詳細は <http://www.anfr.fr/> および/または <http://www.art-telecom.fr>

01	Ain	36	Indre	69	Rhône
02	Aisne	37	Indre-et-Loire	70	Haute-Saône
03	Allier	39	Jura	71	Saone et Loire
05	Hautes-Alpes	41	Loir-et-Cher	72	Sarthe
08	Ardennes	42	Loire	75	Paris
09	Ariège	45	Loiret	77	Seine-et-Marne
10	Aube	50	Manche	78	Yvelines
11	Aude	54	Meurthe-et-Moselle	79	Deux-Sèvres
12	Aveyron	55	Meuse	82	Tarn-et-Garonne
16	Charente	57	Moselle	84	Vaucluse
19	Corrèze	58	Nièvre	86	Vienne
2A	Corse-du-Sud	59	Nord	88	Vosges
2B	Haute-Corse	60	Oise	89	Yonne
21	Côte-d'Or	61	Orne	90	Territoire de Belfort
24	Dordogne	63	Puy-de-Dôme	91	Essonne
25	Doubs	64	Pyrénées-Atlantiques	92	Hauts-de-Seine
26	Drôme	65	Hautes-Pyrénées	93	Seine-Saint-Denis
27	Eure	66	Pyrénées-Orientales	94	Val-de-Marne
32	Gers	67	Bas-Rhin		
35	Ille-et-Vilaine	68	Haut-Rhin		

RFID エンコーダについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

RFID エンコーダ

以下の項は、RFID エンコーダが RP4T プリンタに取り付けられている場合にのみ適用されます。RFID エンコーダは前述の Bluetooth または 802.11g 無線オプションのいずれかと併せて取り付けることができますが、Bluetooth/802.11g デュアル無線オプションと併せて取り付けることはできません。

RP4T シリーズプリンタの製品構成コード (PCC) の5番目の文字が、以下の表の通り RFID エンコーダの国互換性を示しています:

RFID オプション	PCC 「5」 桁目	プリンタのモデル
RFID なし	0	P4T
US	U	RP4T
EU	1	RP4T
オーストラリア	2	RP4T
台湾	6	RP4T
ニュージーランド	8	RP4T
ブラジル	9	RP4T
中国	A	RP4T
マレーシア	B	RP4T
フィリピン	C	RP4T
インド	D	RP4T
エルサルバドル	E	RP4T
イスラエル	F	RP4T
日本	G	RP4T
韓国	H	RP4T

以下の表は、様々な構成の RP4T プリンタ無線オプションに関する FCC およびカナダ規格の ID を示しています。


構成	FCC ID:	カナダ規格 ID:
RFID エンコーダ	I28RFID-M5ECZ-01	3798B-M5ECZ01
RFID エンコーダ & 801.11b/G 無線)	I28RFID-R4LANG-01	3798B-R4LANG01
RFID エンコーダ & BT2.0 無線	I28RFID-M5ZBR4-01	3798B-M5ZBR401:



注意・高周波への暴露。

この RFID エンコーダの放射量は FCC 無線周波暴露制限を大幅に下回っています。RFID エンコーダは無線周波の安全推奨基準内で動作します。プリンタは、不正な方法で使用しないでください。

モデル RP4T RFID エンコーダ

 この項の情報は参考目的のためだけに提供されており、変更されることがあります。最新のEPC情報については <http://www.epcglobalinc.org> を参照してください。

RP4TプリンタにはRFIDエンコーダ/リーダーが装備されており、プリンタの印字ヘッドのアセンブリに組み込まれています。RP4Tは、「スマート」機能を持つラベル、チケット、およびタグに組み込まれた極薄のUHFRFIDトランスポンダーの情報をエンコード(書き込み)します。プリンタは情報をエンコードし、適切なエンコーディングを検証し、バーコード、グラフィック、および/またはテキストをラベルの表面に印刷します。RP4Tプリンタは、Zebraの広範なRFIDのコマンドセットを使用します。このコマンドはZPLプログラミング言語のエミュレーション下で実行されます。

RFIDトランスポンダーはRFIDタグまたはインレーと呼ばれることがあります。通常、トランスポンダーは集積回路(IC)チップに接着されたアンテナでできています。ICチップは、RF回路、コーダー、デコーダーおよびメモリを含んでいます。RFIDラベルを光にかざすと、トランスポンダーのアンテナを見ることができます。また、ラベルのICチップ部分が隆起しているのを感じることができます。

RP4Tは、人間が読めるテキストや従来型の1次元および2次元のバーコード情報をZebra提供のRFID熱転写メディアに印刷できるだけでなく、EPC(電子的製品コード) Generation 2 Class 1 UHFパッシブRFIDタグをエンコード、検証できます。

EPCは、RFID技術を使用して様々な品目を識別するために使用できる製品ナンバリング標準です。EPC Generation 2タグには、他のタイプのタグに比べ優れている点があります。Generation 2タグのタグ識別(TID)メモリには、チップのメーカーやモジュール番号の情報が含まれ、タグにどのオプション機能があるかを識別するために使用できます。これらのオプション機能には、データの内容やセキュリティに関する機能も含まれます。

Generation 2タグは通常96ビットのEPC識別子を持ちますが、これは初期のEPCタグで普及していた64ビットの識別子とは異なります。96ビットのEPCコードはオンラインデータベースにリンクし、サプライチェーンの流れの中で製品固有の情報を共有するための安全な方法を提供します。

Generation 2タグは、はるかに大きなデータ構造もサポートしています。利用可能なユーザーメモリ(もし、あれば)のサイズは、タグのモデルやメーカーによって異なります。

 RFIDラベルのトランスポンダー部分に印刷しようとする印刷品質が低下します。ラベルのRFIDトランスポンダー部分には印刷しないRFIDラベルのレイアウトを推奨します。

P4Tがサポートする Generation 2 Class 1 UHF パッシブタグ
 エイリアン *Squiggle*
 アイブリディニソン
Raflatac Onetenna
 オムロン *Wave*

RFIDラベルのエンコーディングと印刷は、通常は最初の試行で完了しますが、時には失敗が発生する場合があります。エンコーディングの失敗が多発する場合は、RFIDタグ、ラベルのフォーマットあるいはトランスポンダーの配置などに問題がある可能性があります。

RFIDタグにエンコードできない場合、ラベルには「VOID」と印刷されます。プリンタは次のフォーマットを試みる前に、「n」枚のラベルを読み込み・エンコードしようと試みます。この場合、「n」はZPLプログラミング言語の「*^RS*」コマンドによって指定されます。「n」の可能な値は1から10であり、デフォルトは3です。無効になったRFIDラベルを定義された数だけ印刷した後に、プリンタはエラーモードになります。RFIDセットアップコマンドで定義されるプリンタによるエラーへの応答では、以下が使用できます:

1. アクションなし(エラーを起こしたラベルフォーマットが中止される)
2. ホストへエラーの詳細を通知(エラーを起こしたラベルフォーマットが中止される)。

ユーザーは、ラベルのどこにVOIDを印刷するか制御できます。「*^RS*」コマンドに関する詳細情報は、ZebraのWebサイトにある『RFID Programming Guide』に記載されています。

RP4T プリンタ エミュレート について	メンテナンス	トラバリュエーション	仕様	付録	索引
P4Tの概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング プリンタの準備	仕様 プリンタの接続	付録 無線通信規制情報	索引
------------------------	--------	------------------------	---------------	----------------	----

定期メンテナンス





バッテリー寿命を延ばす

- バッテリーを直射日光が当たる場所、または 40° C (104° F) を超える場所に置かないでください。
- リチウムイオンバッテリー専用の Zebra 製充電器を必ず使用してください。その他の充電器を使用するとバッテリーが破損する恐れがあります。

注意・L172 シングル充電器がプリンタ本体に接続された状態で印刷を行わないでください。バッテリーが適切に充電されない場合があります。

- 印字要件に合う適切な用紙を使用してください。Zebra 認定再販業者は、お客様の用途に合わせた最適な用紙の選択をお手伝いします。
- すべてのラベルに同じテキストまたはグラフィックを印刷する場合は、事前に印刷済みのラベルの使用をご検討ください。
- 用紙に合った印刷の濃さおよび速度を選択してください。
- RP4T プリンタ (RFID エンコーダ/リーダー付き): 使用中の RFID メディアに必要な最低電力を使用するようにエンコーダ設定を調整します。
- 必要に応じて、ソフトウェアハンドシェーキング (XON/XOFF) を使用してください。
- LCD ディスプレイバックライトは必要な場合のみ使用してください。必要でない場合はオフにしてください。
- 1日以上使用しない場合、またはメンテナンス充電を行わない場合は、バッテリーをプリンタから取り外します。

一般的なクリーニングの手順

-  **注意**・クリーニングを行う前には常にプリンタの電源をオフにしてください。
 -  ケガをしたり、プリンタが損傷したりすることのないよう、プリンタ内に先のとがった物や鋭利な物を挿入しないでください。
 -  ティアバー近くで作業を行う場合は注意してください。ティアバーの両端は尖っています。
 -  **注意**・長時間印刷すると、印字ヘッドが熱くなります。プリンタ本体の温度が下がってから、クリーニングを行うようにしてください。
- 注意**・P4T シリーズのクリーニング手順に記載された洗浄剤のみを使用してください。Zebra Technologies Corporation は、このプリンタにその他の洗浄剤を使用することによって発生した損傷の責任を負いません。

プリンタをクリーニングする際は、プリンタ付属のクリーニングペンまたはアルコールに浸した綿棒を使用してください。

- 追加バッテリーの購入をご検討ください。
- 充電式バッテリーは時間の経過とともに充電能力が失われ、一定回数充電を行ったら取り替える必要があります。P4T シリーズの「スマートバッテリー」機能はバッテリーパックの状況を監視し、耐用期間の終わりが近づいたら通知します。

 **使用済みバッテリーは、常に適切な方法で処分するようにしてください。バッテリーの適切な処分方法の詳細は、付録 E を参照してください。**

- プリンタが「Please Recondition The Battery (バッテリーを再調整してください)」と表示し、ピープ音が 5 回鳴ったら、再調整して最適な容量に戻します。バッテリーの再調整の情報については、このマニュアルの [オペレータコントロール](#) の項を参照してください。

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング プリンタの準備	仕様 プリンタの接続	付録 無線通信規制情報	索引
------------------------	--------	------------------------	---------------	----------------	----

P4T シリーズのクリーニング

! 注意・ケガをしたり、プリンタが損傷したりすることのないよう、プリンタ内に先のとがった物や鋭利な物を挿入しないでください。

図 17.1 - P4T シリーズのクリーニング

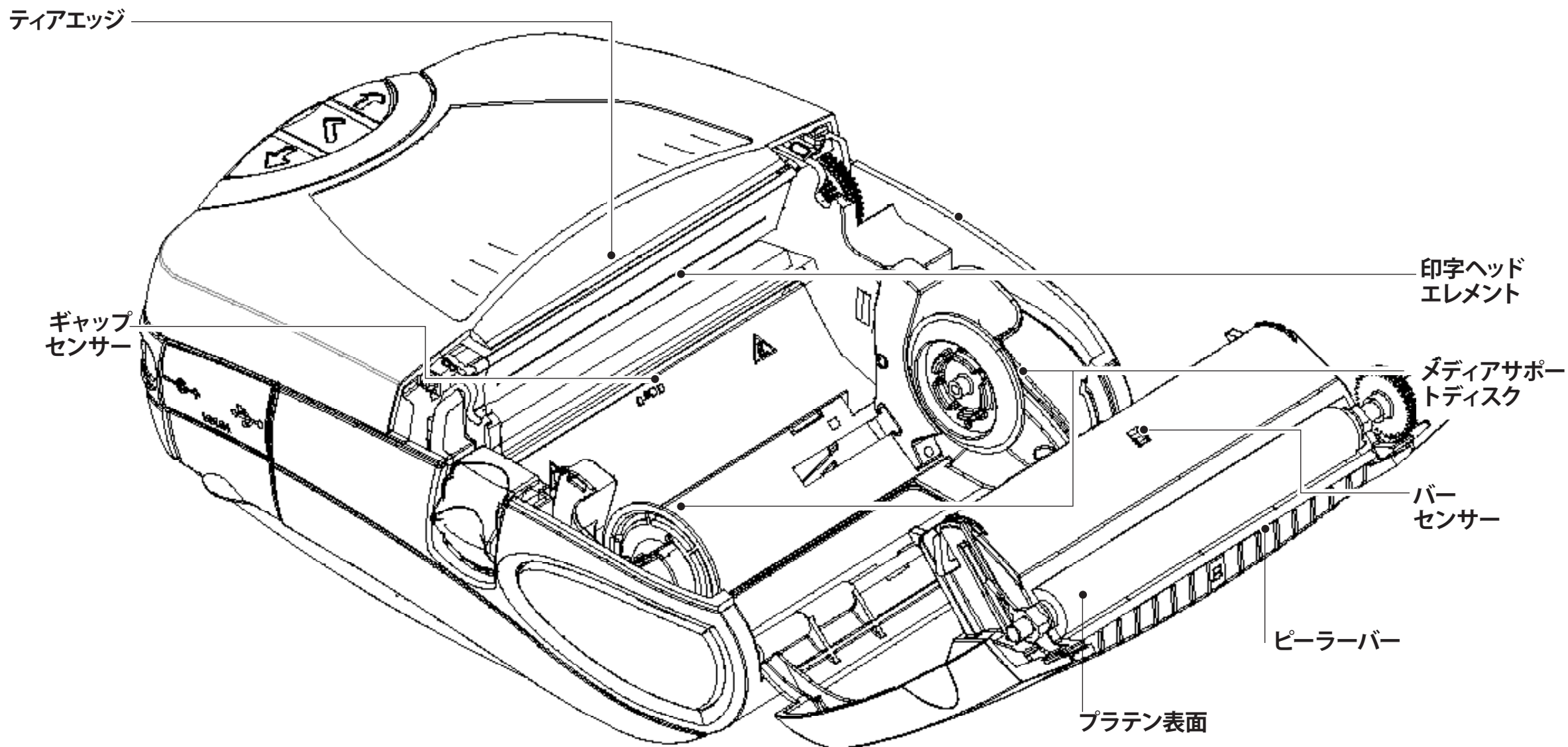
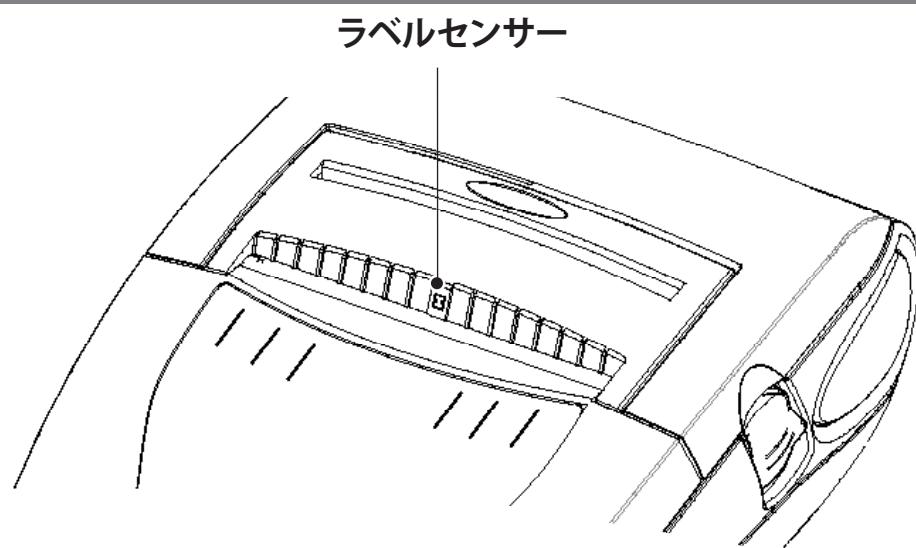


図 17.2 - P4T シリーズのピーラーアセンブリのクリーニング



部位	クリーニング方法	間隔
印字ヘッドエレメント	付属のクリーニングペンを使用して、端から端まで印字エレメントをクリーニングしてください(印字エレメントは印字ヘッドの細い灰色のラインにあります)。	5つのメディアロールごと(または、必要に応じてもっと頻繁に)
プラテン表面	プラテンローラーを回転させて、クリーニングペンで綿密にクリーニングしてください。	
ピーラーバー ティアエッジ	クリーニングペンで綿密にクリーニングしてください。	必要に応じて
外面 内部	水で湿らせた布で拭きます。 ブラシまたは送風。バーセンサー、ギャップセンサー、レベルセンサーの各ウィンドウ、およびメディアサポートディスクに埃が付いていないことを確認してください。	

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報
				索引

トラブルシューティング

LCD コントロールパネル

ディスプレイ上部に各プリンタ機能の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンの状態をチェックして、次ページ以降のトラブルシューティングトピックを参照してください。

アイコン	状態	意味	トラブルシューティングトピックの参照番号
	オン	Bluetooth 接続確立	該当無し
	オフ	Bluetooth 接続なし	6, 8
	オン	802.11b/g RF 接続確立	該当無し
	オフ	802.11b/g RF 接続なし	6, 8
	アンテナの数は 802.11g 信号強度を示します		該当無し
	外側アイコンエレメントが点滅	バッテリー低下	4, 6,
	棒線の数にはバッテリーの充電レベルを示します。ACアダプタから継続的に充電されているときはこれらの充電アイコンの表示が循環されます。		該当無し
	点滅	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎるために充電できません	2
	点滅	用紙切れ	9
	点滅	リボンカートリッジがなくなった	9
	点滅	データ転送処理中	該当無し
空白画面	該当無し	バッテリー電圧が低すぎてプリンタをオンにできないか、アプリケーションがロードされていません。	1, 14

トラブルシューティングトピック

1. 電源が入らない

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認します。
- 必要に応じて、バッテリーを充電または交換します。
- バッテリー電圧がプリンタの電源オン範囲外のときにACアダプタがプリンタに接続されている場合は、プリンタはオンになりません。バッテリーの充電が開始されますが、バッテリーが充電されていることを示す表示は行われません。バッテリー電圧が動作範囲内に達しても、ユーザーが手動でオンにするか、充電ケーブルをいったん抜いてから差し込まない限りプリンタはオンになりません。

2.ACアダプタが差し込まれており、バッテリーアイコン と が交互に点滅。

- バッテリーの温度が安全に充電できる温度範囲外であることを示します。バッテリーの温度が安全に充電できる温度範囲内になると、充電が再開されます。

3. 給紙できない

- 印字ヘッドが閉じており、ロックされていることを確認します。
- メディアサポートのコンポーネントが曲がっていないことを確認します。
- プリンタにラベルセンサーが装備されている場合は、最後に印刷されたラベルがはがされていることを確認します。
- ラベルセンサーが遮られていないことを確認します。

RP4T プリンタ	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
ユニフォームについて	P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

トラブルシューティングトピック (続き)

4. 印字が不鮮明、色がぼやけている、または () アイコンが点滅している

- 印字ヘッドをクリーニングしてください。
- バッテリーパックをチェックしてください。必要に応じて、バッテリーを充電または交換します。

 使用済みバッテリーパックは、常に適切な方法で処分するようにしてください。詳細は付録 E を参照してください。

- メディアの質を確認してください。

5. 部分的にしか印刷できないか、何も印刷できない

- リボンカートリッジとラベル用紙が正しく装填されていることを確認してください。
- 印字ヘッドをクリーニングしてください。
- 印字ヘッドが正しく閉じており、ロックされていることを確認します。

6. 印刷されない

- バッテリーパックを交換してください。
- 端末接続用ケーブルを点検します。
- ワイヤレスユニットのみ ワイヤレス接続を回復させます。
- 熱転写紙を使用している場合: リボンカートリッジが装着されていることを確認します。

7. 充電持続時間の低下

- バッテリーパックの日付コードを確認します。製造後1年から2年経過している場合、正常な消耗によって充電寿命が短くなっている可能性があります。
- プリンタのディスプレイを確認します。バッテリーが工場で設定された充電サイクル数を超えている場合は、バッテリーが再調整または交換が必要であるというメッセージがプリンタに表示されます。
- バッテリーパックを交換してください。

8. または アイコンがオフ

- Bluetooth または 802.11g オプションのあるプリンタのみ: ワイヤレス接続が確立されていないことが表示されます。

9. または が点滅

- ラベル用紙が装填されているか確認してください。
- 消耗している場合、リボンカートリッジを交換します。
- 印字ヘッドが閉じており、ロックされていることを確認します。

10. ラベルがスキップされる

- 正しい用紙が使用されているか確認します。
- バーセンサーまたはギャップセンサーが遮られていないか確認します。
- ラベルのデザインが実際のメディアの長さを超えていないか確認します。

11. 「しわパターン」が印刷されるか、または文字の一部が欠ける

- リボンカートリッジを装着する前にたるみがとられていることを確認します。ラベルを数枚印刷した後に問題は自然に解決します。
- ラベル用紙が歪まずまっすぐにプリンタから出ることを確認してください。用紙をピーラーアセンブリに装填するときにプリンタカバー上の位置合わせマークに合わせることで、用紙がしわになることを防いでください。必要なら、用紙を正しく装填し直してください。

12. 複数回「Void」メッセージが印字される

- RP4T プリンタのみ: RFID 用紙が装填されていることを確認します。プリンタは非 RFID 用紙上の RF エンコードを検証できないので、事前設定されているラベル数だけ「Void」を印字して停止します。

13. 通信エラー

- 用紙が装填され、印字ヘッドが閉じており、エラーインジケータがオフであることを確認します。
- 端末接続用ケーブルを交換してください。

14. 空白画面

- アプリケーションがありません。アプリケーションを再ロードし、プリンタを再起動してみてください。
- 電源が入っていません。この項のトピック 1 を参照してください。

マニュアルについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

トラブルシューティング テクニック

コンフィグレーションラベルの印字

プリンタの現在の設定のリストを印字するには、以下の手順に従います。

1. プリンタの電源をオフにします。用紙コンパートメントにジャーナル用紙 (背面にブラックバーが印字されていないもの) を装填します。
2. フィードボタンを押したままにします。
3. 電源ボタンを押して離し、フィードボタンを押したままにします。印字が開始されたら、フィードボタンを離します。
4. プリンタは2つのレポートを作成します。最初のレポートは、プリンタの基本機能テストに関するレポートです。印字ヘッドの元素の動作テストとして「X」文字が連続して印字され、インストールされているメモリを含めたプリンタの基本機能に関するレポートを印字します。第2レポートは、インストールされているオプション(無線など)やシステム設定の現在の状態などを含めた、プリンタの設定の詳細なリストです。

コンフィグレーションラベルのプリントアウトの例は、図 18.1～18.2 を参照してください。

強制終了の実行

プリンタが動作しなくなり、オペレータの入力や接続端末または接続されている LAN からの外部コマンドに応答しない場合、強制終了を実行できます。

- プリンタソフトウェアが通常の操作中に動作しなくなった場合は、電源ボタンを 3 秒間押し続けてプリンタを強制終了します。
- 通常の方法でプリンタをオフにしようとしてソフトウェアが動作しなくなった場合は、プリンタは 10 秒間遅れて終了します。
- プリンタの電源をオフにしようとして応答がない場合は、電源ボタンを 10 秒以内に再度押し続けてプリンタを強制終了します。

強制終了では、プリンタのデータおよび設定が保持されます。

通信診断

プリンタと端末または WLAN の間のデータ転送に問題がある場合、プリンタを通信診断モード(「ダンプ」モードとも言われます)にすることで診断解析を行えます。プリンタは、ホストコンピュータから受信したデータの ASCII 文字およびテキスト表示(印刷不可能な文字の場合は、ピリオド「.」)を印字します。

通信診断モードにするには、以下の操作を実行します。

1. 上記の説明のとおりコンフィグレーションラベルを印刷します。
2. 2つめの診断レポートの最後に、次のテキストが印字されます。「Press FEED key to enter DUMP mode.」
3. フィードキーを押します。次のテキストが印字されます。「Entering DUMP mode.」



注記・フィードキーが3秒以内に押されない場合、DUMPモードになっていないことを示す「DUMPmodenotentered」というテキストが印字され、通常の操作が再開されます。

4. この時点で、プリンタは DUMP モードで送信される任意のデータの ASCII 16 進数コードとテキスト表示 (印刷不可能な文字の場合は「.」) を印字します。

さらに、ASCII 情報を含んだ「.dmp」拡張子のファイルが作成され、プリンタのメモリに保存されます。このファイルは、LabelVista アプリケーションを使用して、表示、コピーまたは削除できます。(詳細は LabelVista のマニュアルを参照してください。)

通信診断モードにするには、以下の操作を実行します。

1. プリンタの電源をオフにします。
2. 5 秒待ちます。
3. プリンタの電源をオンにします。
プリンタは通常の動作を再開します。

テクニカルサポートへの連絡

プリンタがコンフィグレーションラベルの印刷に失敗した場合、またはトラブルシューティングガイドに記載されていない問題が発生した場合、Zebra のテクニカルサポートにご連絡ください。ご連絡いただく際は、以下の情報をお伝えください。

- モデル番号/タイプ (例: P4T、RP4T)
- 本体のシリアル番号 (14 桁の数字、ダッシュ記号を含む) および製品構成コード (PCC) (15 桁の番号、ダッシュ記号を含む)。これらの番号の位置については付録 D を参照してください。
- テクニカルサポートの連絡先情報は、本書の付録 D に記載されています。

RP4T プリンタ
について

メンテナンス
P4T の概要

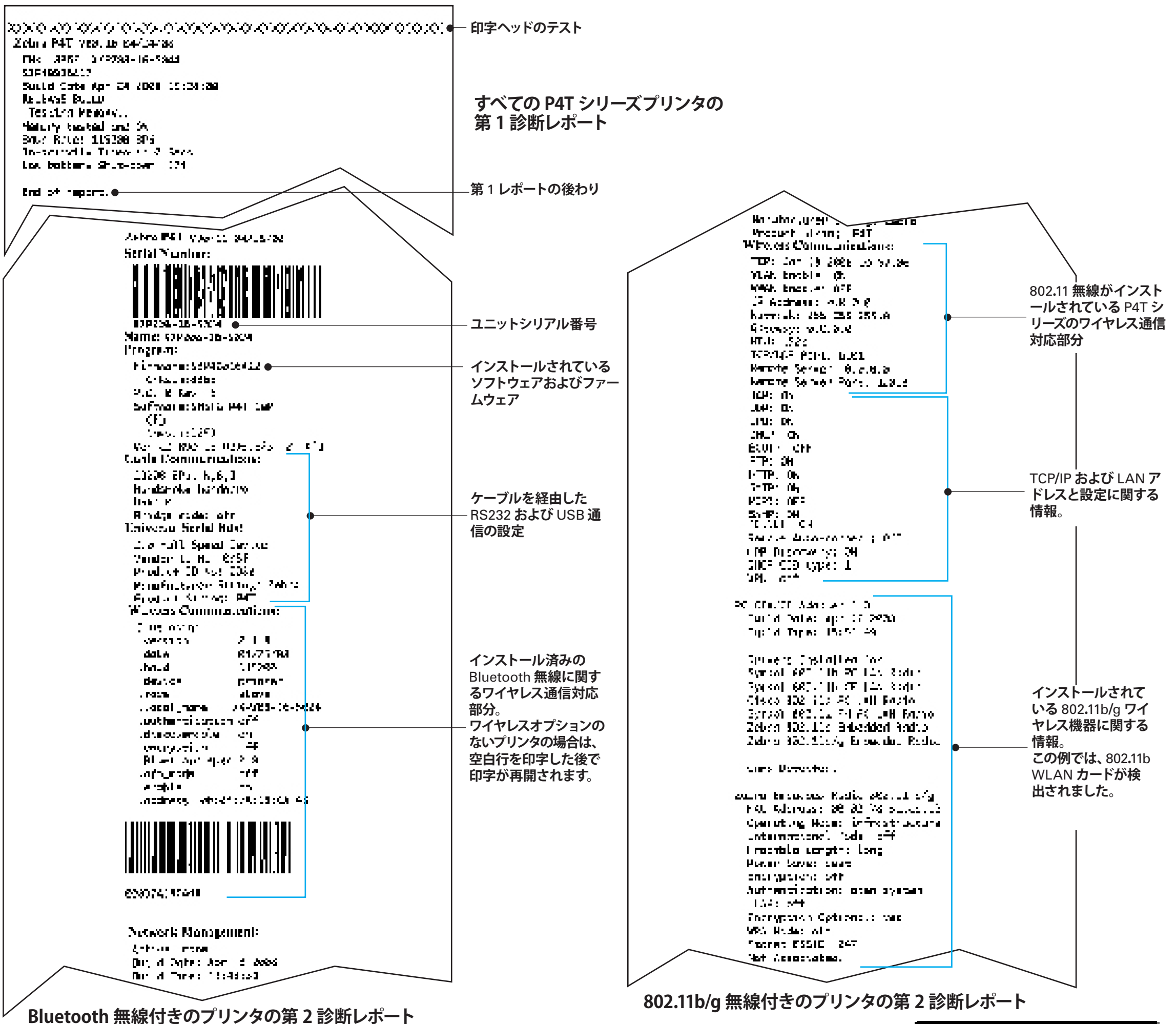
トラブルシューティング
プリンタの準備

仕様
プリンタの接続

付録
無線通信規制情報

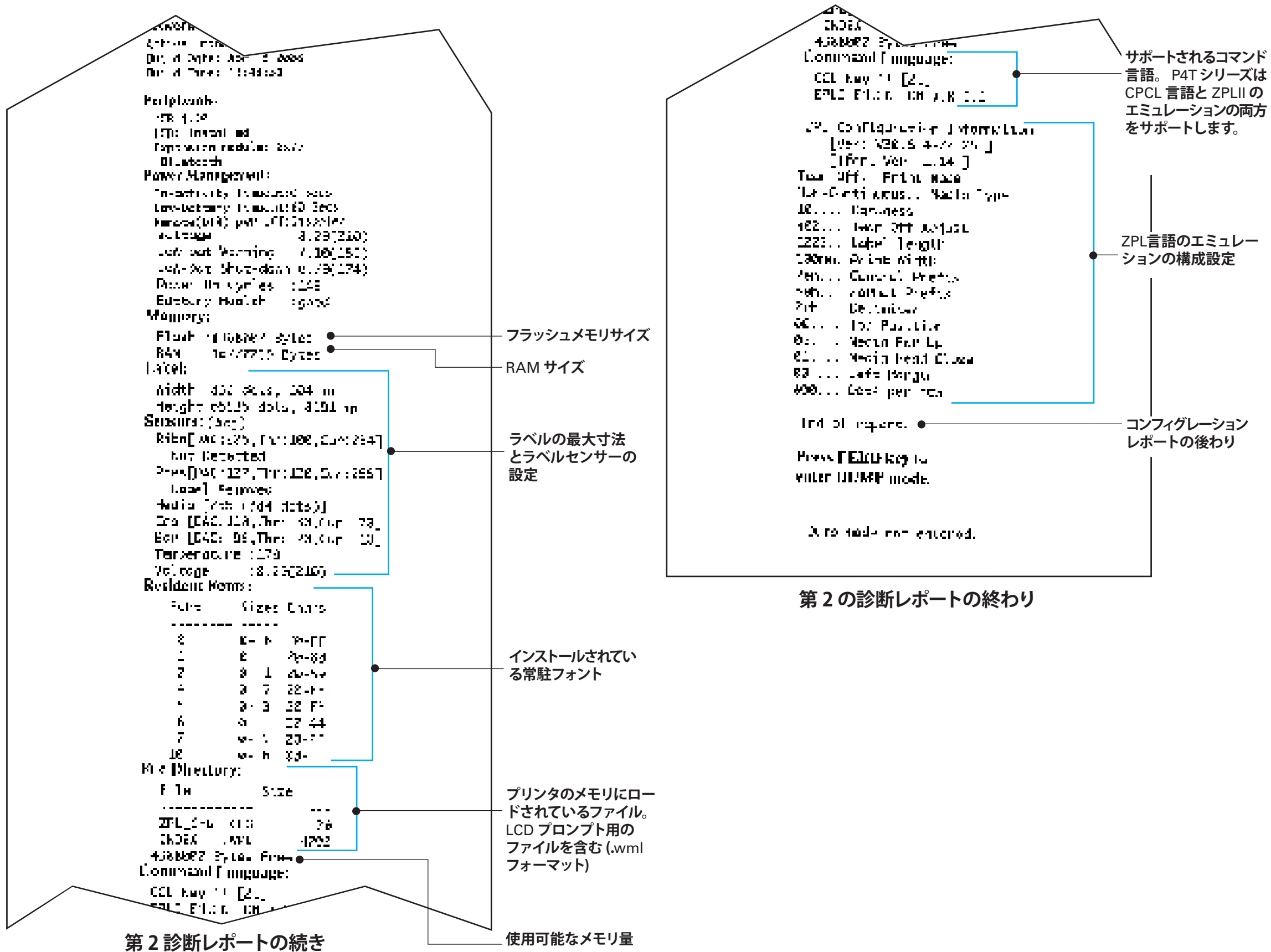
索引

図 18.1 - P4T シリーズのコンフィグレーションラベルの例



RP4T プリンタ について	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

図 18.2 - P4T シリーズのコンフィギュレーションラベルの例



RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラoubleshooting	仕様	付録	索引
P4T の概要					
プリンタの準備					
プリンタの接続					
無線通信規制情報					

仕様

! 注記・プリンタ仕様は予告なく変更されることがあります。

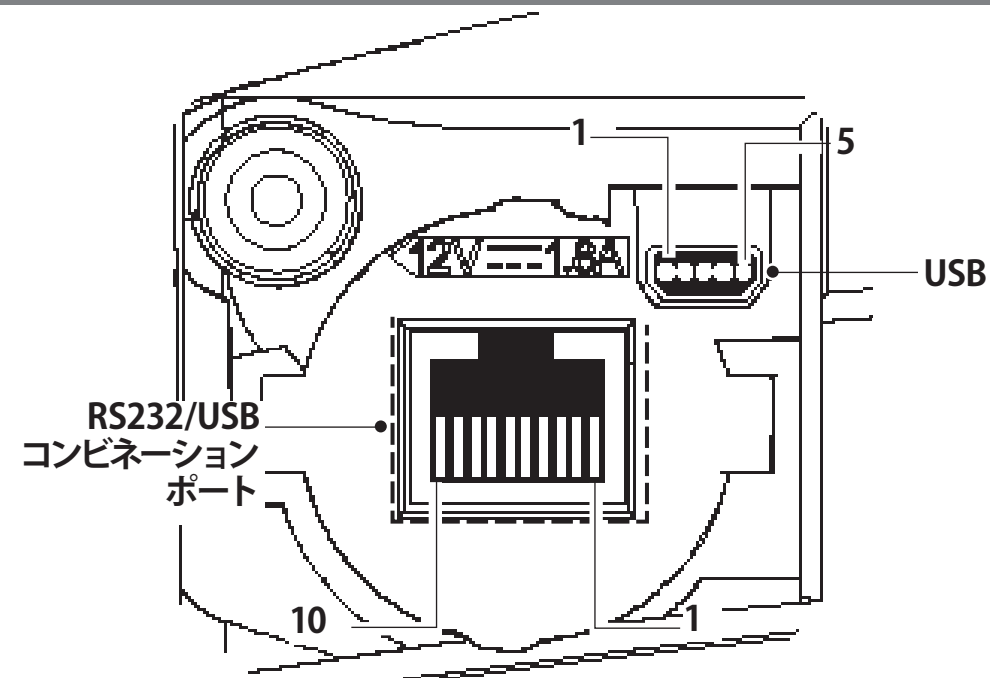
印字仕様

最大印刷幅	103,8 mm [4.09 インチ]
印刷速度 (濃度 30% の場合)	50,8 mm/秒 [2.0 インチ/秒] 感熱モード
	38,1 mm/秒 [1.5 インチ/秒] 熱転写モード
プリントエレメントからティアエッジ までの距離	9,91 mm [0.39 インチ] 41 ドット
印字ヘッド寿命	25.4 Km (1,000,000 インチ) 以上
印刷濃度	8 ドット/mm (203 ドット/インチ)

メモリ / 通信仕様

フラッシュメモリ	8 MB フラッシュ (標準)
RAM メモリ	16 MB RAM
標準通信	RS-232C シリアルポート (RJ-45 コネクタ) 設定可能ボ ーレート (9600 ~ 115.2 Kbps)、パリティビットとデータ ビット。ソフトウェア (X-ON/X-OFF) またはハードウェア (DTR/STR) 通信ハンドシェイクプロトコル。 2 つの USB 2.0 フルスピードインターフェース接続: (1) 「B」タイプ USB コネクタ、および (2) また、USB 信号は RJ-45 コネクタに統合されてい ます。 USB ケーブルについては、通信ポートの仕様および 付録 A を参照してください。
ワイヤレス通信 (オプション)	Bluetooth 2.0 互換 2.4 GHz SRRF 接続 802.11b または 802.11g プロトコル準拠ワイヤレス LAN 機能 併用 Bluetooth 2.0 + 802.11b/g 無線 (P4T のみ)
リアルタイムクロック (RTC)	アプリケーションによる時間と日付のコントロール。 RTC コマンドについては、www.zebra.com から入手可 能な『CPCL Programming Manual』を参照してください。

図 19 - P4T シリーズ通信ポート



通信ポート

USB

信号 ピン番号	名前	タイプ	内容
1	VBUS		USB バス電源
2	USB -	双方向	I/O 信号
3	USB +	双方向	I/O 信号
4	USB_ID		A/B コネクタ識別
5	Return		グラウンド

RS232/USB

信号 ピン番号	名前	タイプ	内容
1	USB D-	双方向	I/O 信号
2	USB D+	双方向	I/O 信号
3	RXD	入力	データ受信
4	TXD	出力	データ送信
5	DTR	出力	データ端末準備完了 - プリンタが オンの時に高に設定。
6	GND		グラウンド
7	DSR	入力	データセット準備完了 - 低から高
8	RTS	出力	送信リクエスト - プリンタがコマン ドまたはデータの受信準備が完 了している場合に高に設定
9	CTS	入力	ホストから送信可
10	VBUS		USB バス電源

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラバリュシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要				無線通信規制情報	
		プリンタの準備	プリンタの接続		

P4T シリーズのメディア仕様

メディア幅	50.8 ~ 104.6 mm (2.0 インチ ~ 4.12 インチ)
最大連続受信 (標準メモリ使用)	連続 (搭載メモリによる)
ラベル間ギャップ	2 mm ~ 4 mm (3 mm 推奨)(0.08 インチ ~ 0.16 インチ [0.12 インチ 推奨])
ラベル厚	0,064 mm ~ 0,165 mm (0.032 インチ ~ 0.007 インチ)
RFID ラベル厚 (RP4T のみ)	.064 mm ~ .165 mm (0.032 インチ ~ 0.007 インチ)、RFID エlement厚- 0,58 mm [.023 インチ]
最大ラベルロール径。	57 mm (2.25 インチ) 外径
ラベル内部芯	19 mm (.75 インチ) 最小径; 35 mm (1.38 インチ) RFID メディア
ブラックマーク寸法	反射用紙ブラックマークはロールの中心線を超えるところまで延びる。
用紙要件	最小マーク幅: 25.4 mm (1.0 インチ) 用紙の端に対して直角、ロール幅で中央合わせ。 マーク長: 2.4 mm (0.094 インチ) 用紙の端に対して平行

Zebra ブランドの外巻き感熱式用紙を使用してください。用紙には、反射(ブラックマーク)検出、または透過(ギャップ)検出、打抜き、連続があります。外部用紙オプション設定のある P4T の場合、外部用紙供給とともに連続式用紙を使用できます。打抜きラベルでは、全自動ダイのみを使用してください。

P4T シリーズフォントおよびバーコード仕様

使用可能な一次元 & 二次元バーコード	Codabar (NW-7)
	UCC/EAN 128
	Code 39
	Code 93
	EAN 8/JAN 8、2 桁および 5 桁拡張
	EAN 13/JAN 13、2 桁および 5 桁拡張
	EAN 14/JAN 14、2 桁および 5 桁拡張
	Interleaved 2 of 5
	MSI/Plessey
	FIM/POSTNET
	UPC-A、2 桁および 5 桁拡張
	UPC-E、2 桁および 5 桁拡張
	QR コード
	MaxiCode
	PDF 417
Aztec	
DataMatrix (ZPL エミュレーション使用)	
RSS (省スペースシンボル): RSS-14 トランケート RSS-14 スタック RSS-14 スタック オムニダイレクション RSS リミテッド RSS エクスパンド	
TLC-39/Micro PDF	
回転角度	0°、90°、180°、および 270°
使用可能なフォント	標準フォント: 25ビットマップフォント、1サイズ調整可能フォント (CG Trimvirate Bold Condensed*) LabelVista ソフトウェアからのダウンロード可能なオプションのビットマップ & サイズ調整可能フォント。 国際文字セット: 中国語 16 x 16 (繁体字)、16 x 16 (簡体字)、 24 x 24 (簡体字); 日本語 16 x 16、24 x 24 韓国語 ミャンマー語 16 x 16 ギリシャ語 ヘブライ語 / アラビア語

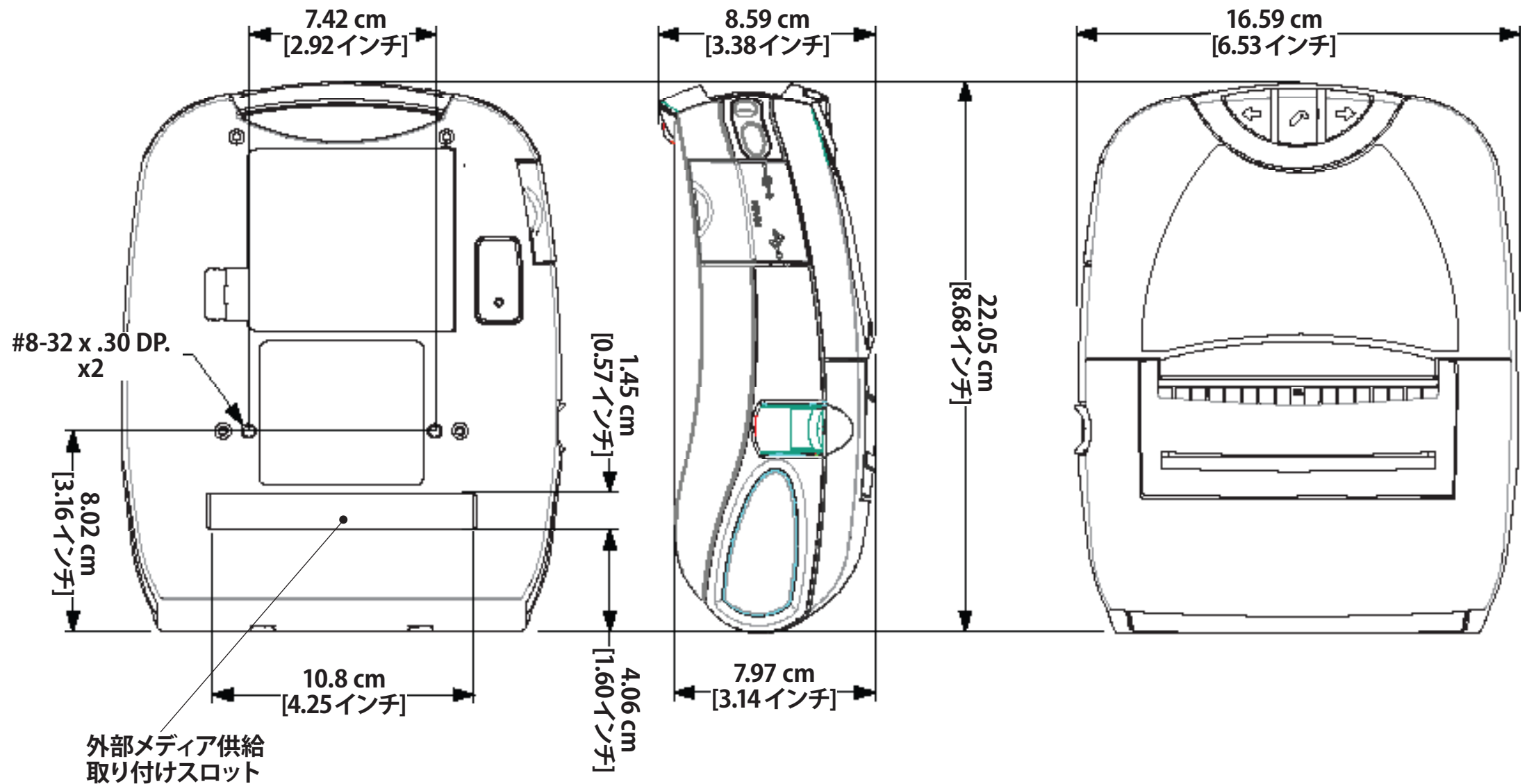
*Agfa Monotype Corporation の UFST を含む
*Agfa Monotype Corporation の UFST を含む

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

物理的 / 環境 / 電気仕様

P4T シリーズ	
重量 (バッテリー込み)、TT リボン (メディアおよび無線オプションは除く)	1,32 Kg. (2.9 lbs.)
操作時の温度	感熱: -20 °C ~ 50 °C (-4 °F ~ 122 °F) 熱転写: 0 °C ~ 45 °C (32 °F ~ 113 °F)
充電時の温度	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
保管時の温度	-30 °C ~ 65 °C (-22 °F ~ 149 °F)
相対湿度	操作時: 10% ~ 90% (非結露) 保管時: 10% ~ 90% (非結露)
バッテリー	7.4V リチウムイオン 4.2 AHr.
防水 (IP) 評価	14 (54 w/ オプションのソフトケース)

図 20 - P4T シリーズ全体寸法



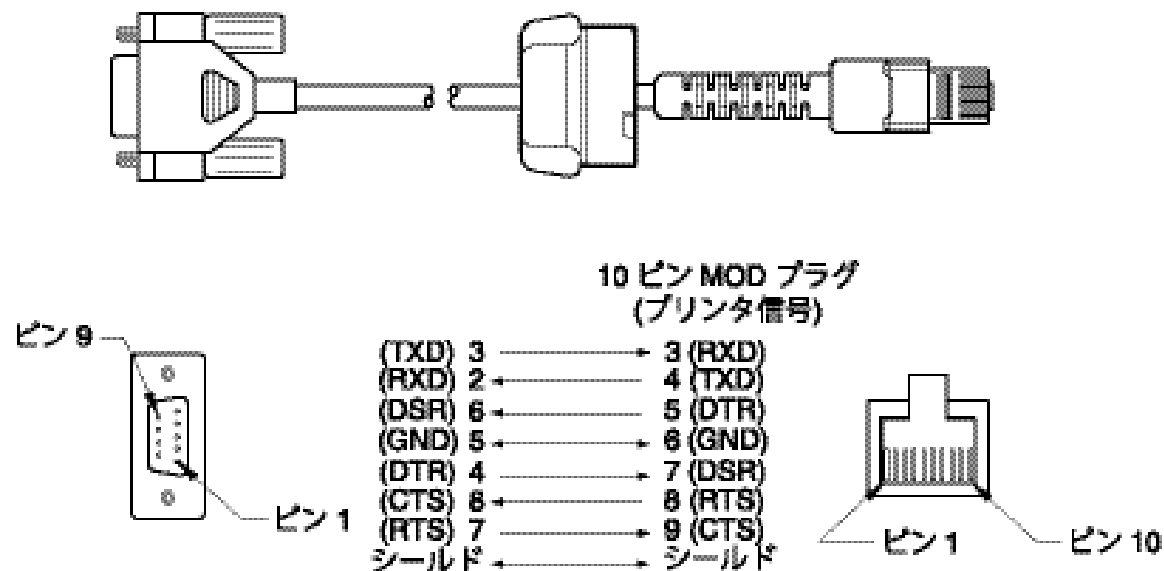
無線通信規制情報	付録	仕様	プリンタの接続	プリンタの準備	トラブルシューティング	メンテナンス	RP4T プリンタ マニュアルについて
	索引					P4T の概要	

付録 A

インターフェースケーブル

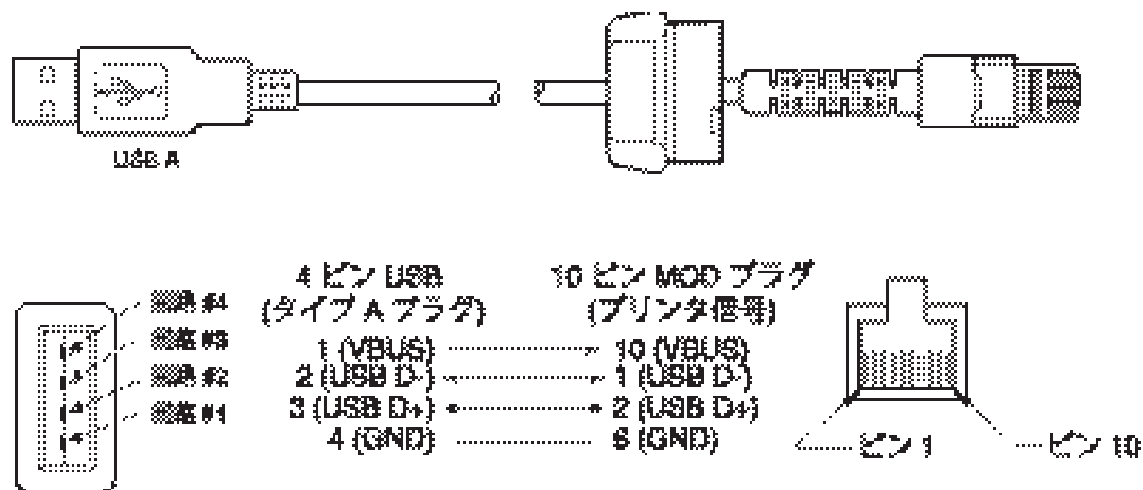
RS232 ダウンロード用ケーブル

部品番号 AK17463-008、RW Mod プラグ - 9 ピン DB PC 接続ケーブル



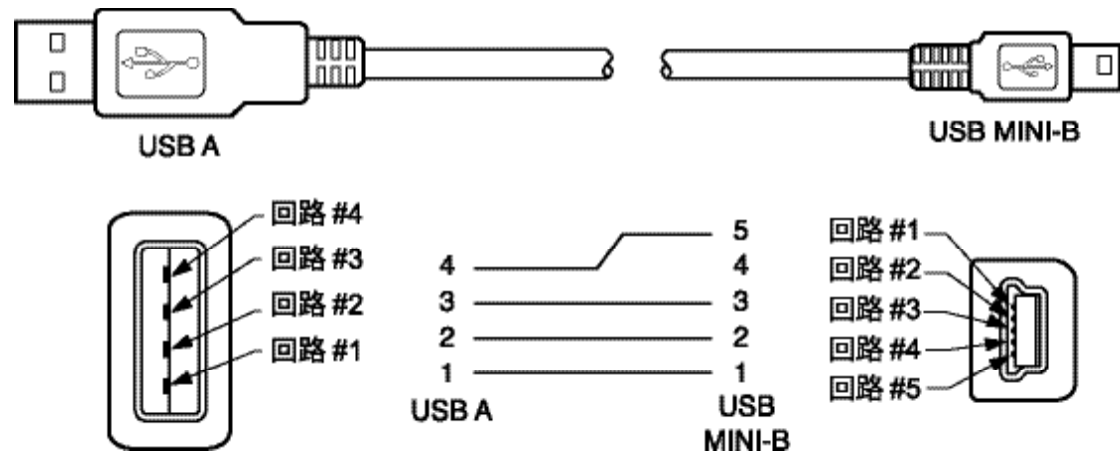
USB ダウンロード用ケーブル

部品番号 AK18666-1; RW Mod プラグ - USB A ケーブル



USB ケーブル

部品番号 AT17010-1、USB A - USB Mini B 接続ケーブル



主要なメーカーのデータ端末へのインターフェースケーブルの情報については、工場または Zebra 営業担当にお問い合わせください。

Zebra モバイルプリンタの全シリーズのインターフェースケーブルのリストについては、Zebra の Web サイト www.zebra.com もご覧ください。

RP4T プリンタ マニュアル について	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報	

付録 B

用紙

最大のプリンタ寿命、および毎回安定した性能と印刷品質を保証するため、Zebra 製の用紙のみを使用することを推奨します。

Zebra 製の用紙を使用することによって、以下のメリットが受けられます。

- 安定した品質と信頼性の高い用紙製品
- 標準的な形式、および豊富な品揃え
- 自社カスタムフォーマット設計サービス
- 世界中に広がる大手小売チェーンを含め、大規模から小規模まで多様なビジネスのニーズを満たす大規模生産能力
- 業界標準以上の品質

標準用紙やカスタム用紙に関する詳細は、販売代理店または Zebra Technologies Corporation の用紙販売担当まで (+1.866.230.9495: 米国、カナダおよびメキシコ国内のみ) お問い合わせください。

付録 C

メンテナンス用消耗品

Zebra 製の高品質用紙の使用に加え、プリンタを清掃する際はメンテナンスに関する項の説明に従って行うことを推奨します。メンテナンスには、以下の Zebra 製メンテナンス用消耗品をご利用ください。

- クリーニングペン (12 パック)、追加注文番号 AN11209-1
- クリーニングペン付きクリーニングキットおよび綿棒、追加注文番号 AT702-1

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラoubleshooting	仕様	付録
P4T の概要		プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報
				索引

付録 D

製品サポート

お客様のプリンタで問題が発生したためにご連絡いただく場合は、以下の情報をお手元にご用意ください。

- モデル番号/タイプ (例、 P4T、 RP4T)
- ユニットシリアル番号
- 製品構成コード (PCC)

オンラインの製品サポート、ダウンロード可能な最新バージョンのユーザードキュメント、ファームウェアおよびソフトウェアのユーティリティについては、Zebra Web サイト www.zebra.com

北中南米地域は、以下にお問い合わせください。

地域本社	テクニカルサポート	顧客サービス部門
Zebra Technologies International, LLC (Zebra テクノロジーズ・ インターナショナル LLC) 333 Corporate Woods Parkway Vernon Hills, Illinois 60061-3109 U.S.A 電話: +1 847 793 2600 フリーダイヤル: +1 800 423 0422 ファックス: +1 847 913 8766	電話: +1 847 913 2259 ファックス: +1 847 913 2578 ハードウェア: ts1america@zebra.com ソフトウェア: ts3america@zebra.com	プリンタ、部品、メディア、およ びリボンについては、ディ ストリビュータまたは弊社ま でお問い合わせください。 電話: +1 877 275 9327 電子メール: clientcare@zebra.com

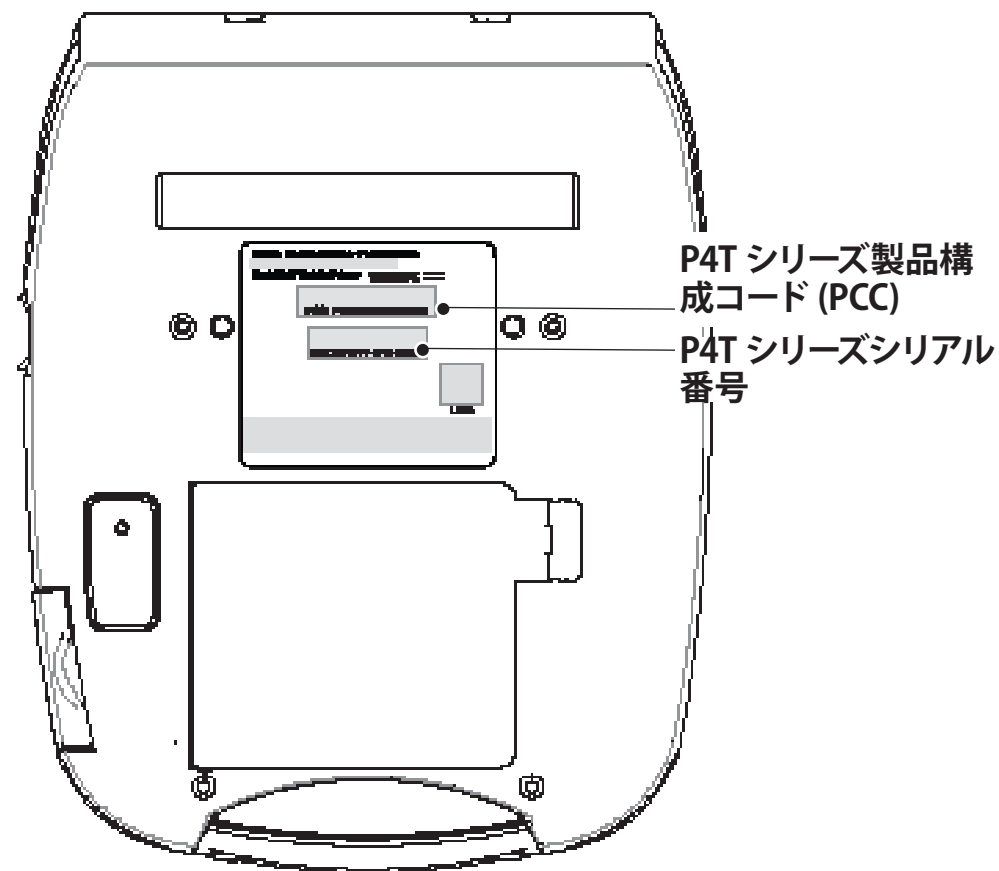
ヨーロッパ、アフリカ、中東、インド地域は、以下にお問い合わせください。

地域本社	テクニカルサポート	内部販売部門
Zebra Technologies Europe Limited Dukes Meadow Millboard Road Bourne End Buckinghamshire SL8 5XF, UK 電話: +44 (0)1628 556000 ファックス: +44 (0)1628 556001	電話: +44 (0) 1494 768298 ファックス: +44 (0) 1494 768210 ドイツ: Tsgermany@zebra.com フランス: Tsfrence@zebra.com スペイン/ポルトガル: Tspain@zebra.com その他すべての地域: Tseurope@zebra.com	プリンタ、部品、メディア、お よびリボンについては、デ ィストリビュータまたは弊 社までお問い合わせくださ い。 電話: +44 (0) 1494 768316 ファックス: +44 (0) 1494 768244 電子メール: cseurope@zebra.com

アジア太平洋地域は、以下にお問い合わせください。

地域本社	テクニカルサポート	顧客サービス
Zebra Technologies Asia Pacific, LLC (Zebra テクノロジーズ・アジア太平 洋 LLC) 詳細な連絡先情報は、 www.zebra.com/contact をご覧だ さい。 電話: +65 6858 0722 ファックス: +65 6885 0838	電話: +65 6858 0722 ファックス: +65 6885 0838 電子メール: (中国): tschina@zebra.com その他すべての地域: tsasiapacific@zebra.com	プリンタ、部品、メディア、お よびリボンについては、デ ィストリビュータまたは弊社 までお問い合わせください。 電話: +65 6858 0722 ファックス: +65 6885 0836 電子メール: (中国) order-csr@zebra.com その他すべての地域: csasiapacific@zebra.com

P4T シリーズプリンタ用シリアルおよび PCC 番号位置



P4T シリーズ製品構成
コード (PCC)
P4T シリーズシリアル
番号

RP4T プリンタ マニュアルに ついて	メンテナンス	トラバシューティング	仕様	付録	索引
P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続	無線通信規制情報		

付録 E

バッテリーの処分



本プリンタには、EPA (米国環境保護局) が認可するRBRC® バッテリー・リサイクルシールが貼付されています。このシールは、米国またはカナダで、耐用年数が過ぎ使用されなくなったバッテリーを集めて再利用する産業プログラムの参加製品であることを示しています。Zebra Technologies Corporation は、このプログラムに自発的に参加しています。一般的に、使用済みのリチウムイオンバッテリーが、ゴミとして廃棄されたり、下水に流されたりすることがありますが、これは地域によっては違法となります。このRBRCプログラムは、これに取って代わる便利な廃棄方法です。

! 廃棄する前に端子をテープで絶縁してください。

お住まいの地域でのリチウムイオンバッテリーのリサイクルプログラム、および処分の禁止または規制に関する情報については、1-800-8BATTERY (北米に居住の場合のみ) までお問い合わせください。Zebra Technologies Corporation は、環境および天然資源の保全に対する取り組みの一環として、このプログラムに参加しています。

北米以外の地域では、その地域のバッテリーのリサイクルに関する各ガイドラインに従ってください。

製品の処分



この製品は、無分別の一般廃棄物として処分しないでください。この製品はリサイクルが可能です。リサイクル方法は、各居住地域の基準に従ってください。詳細は、<http://www.zebra.com/environment> を参照してください。

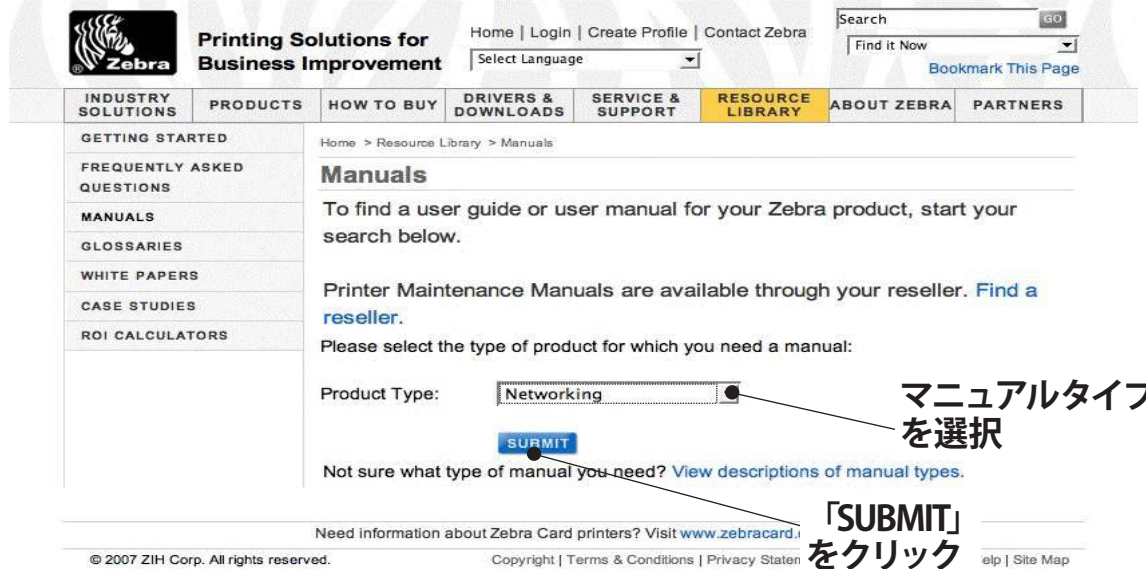
マニュアルについて	RP4T プリンタ
P4T の概要	メンテナンス
プリンタの準備	トラブルシューティング
プリンタの接続	仕様
無線通信規制情報	付録
	索引

付録 F

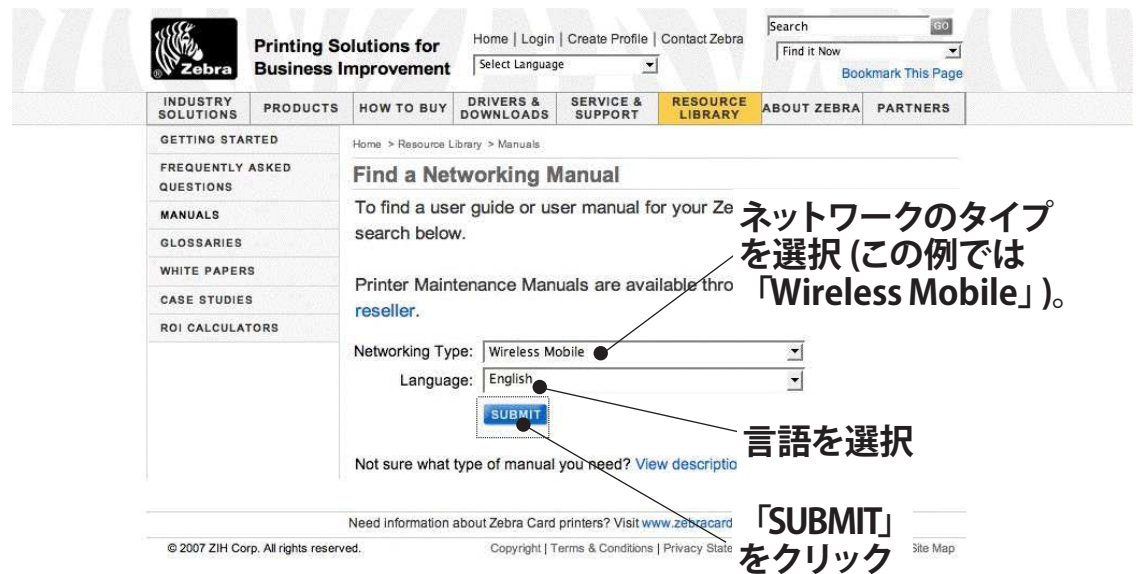
zebra.com の使用

以下の例では、Zebra Web サイトの検索機能を使って、特定のドキュメントを探します。

例 1: 「Mobile Printer Wireless Configuration Guide」を検索します。
www.zebra.com/manuals へ移動します。
 マニュアルのタイプとして「Networking」を選択して、「SUBMIT」をクリックします。



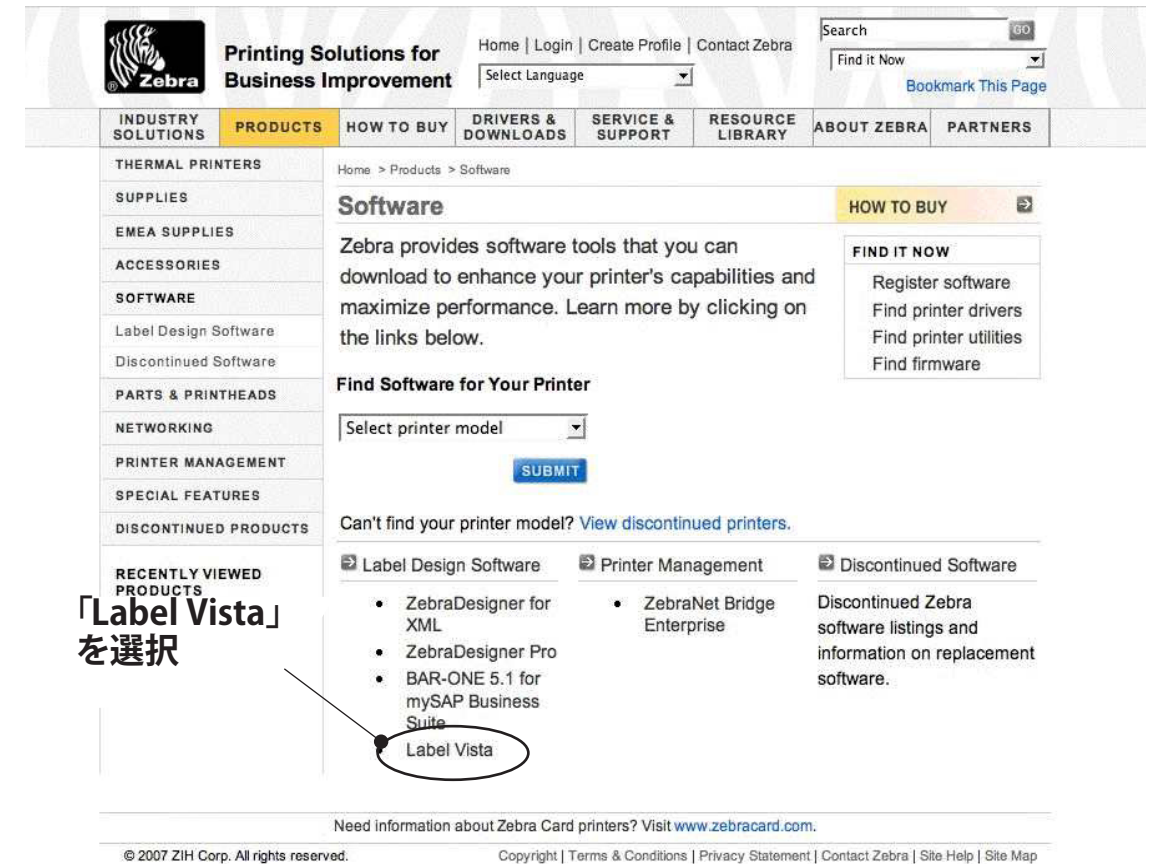
結果の画面で、ネットワークのタイプとして、「Wireless Mobile (移動無線機)」を選択します。次に、希望する言語を選択します。(この場合「All」または「English」を選択するとよいでしょう)



結果の画面で、「Zebra Mobile Printers - Wireless Configuration Guide」を選択した後、「ダウンロード」をクリックしてダウンロード処理を開始してください。

例 2: Label Vista ダウンロードページの検索:

www.zebra.com/software へ移動して、「Label Vista」を選択します。



結果として表示されるウィンドウで、「Download a free Label Vista demo now」を選択します。

付録 G- 特許

この製品または付属品の使用は、以下の米国特許および対応する国際特許の適用対象となる場合があります。

6,275,265	6,133,445	6,898,845	5,726,650	6,221,200
6,347,221	6,140,144	6,606,261	5,788,661	6,221,213
6,369,178	6,132,700	6,630,120	5,790,122	6,227,521
6,450,169	6,142,590	6,630,140	5,791,766	6,270,272 且つ
6,452,722	6,142,890	6,632,120	5,806,660	6,225,845 且つ
6,549,768	6,157,857	6,635,482	5,812,240	6,292,525
6,564,670	6,168,142	6,636,812	5,816,736	6,296,222
6,578,676	6,168,146	6,639,411	5,820,279	6,296,590
6,584,946	6,169,206	6,639,440	5,842,246	6,272,258 且つ
6,590,766	6,222,521	6,644,231	5,860,759	6,602,401 且つ
6,592,261	6,220,268	6,642,891	5,872,585	6,631,297 且つ
6,587,297	6,225,167	6,642,893	5,874,960	6,626,227 且つ
6,600,120	6,243,895	6,636,349	5,868,229	6,600,143
6,606,251	6,247,162	6,672,200	5,876,720	6,590,705
6,562,126	6,250,791	6,672,202	5,872,906	6,540,122
6,607,156	6,250,792	6,672,441	5,866,126	6,540,142
6,672,205	6,222,227	6,686,257	5,867,160	6,297,216
6,726,295	6,227,800	6,592,463	6,204,259	6,292,844
6,752,737	6,220,163	6,594,222	6,210,227	6,255,523
6,816,660	6,220,166	6,592,261	6,220,906	6,796,757
6,846,250	6,220,468	6,526,821	6,204,706	6,274,258
6,866,226	6,294,786	6,532,469	6,206,229	6,292,477
6,867,252	6,294,788	6,545,810	6,207,270	6,292,286
6,822,221	6,221,245	6,545,869	6,202,435	7,126,716
6,822,252	6,225,170	6,552,522	6,202,435	7,137,200
6,822,737	6,224,123	6,570,123	6,206,706	7,172,122
6,816,259	6,227,161	6,576,810	6,168,221	7,190,270
6,817,725	6,272,420	6,582,860	6,122,371	
6,821,241	6,272,142	6,232,531	6,147,767	
6,822,126	6,276,862	6,242,866	6,151,257	
6,847,637	6,292,253	6,257,266	6,204,255 且つ	
6,162,461	6,292,255	6,260,450	6,234,259 且つ	

RP4T プリンタ	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	付録
マニュアルについて	P4T の概要	プリンタの準備	プリンタの接続	
				無線通信規制情報
				索引

RP4T プリンタ マニュアルについて	メンテナンス	トラブルシューティング	仕様	無線通信規制情報	索引
P4Tの概要					
プリンタの準備					
プリンタの接続					

索引

安全性

- バッテリー 7
- 充電器 7

印刷方法

- 感熱 6
- 熱転写 6
 - 熱転写フィルム 6
 - 熱転写フィルムの装填 17

エンコーダのオプション

- RFID 5, 6

クリーニング

- 一般的な手順 32
- 方法 & 間隔
表 33

ケーブル通信 23

- USB 24
- コンビネーションポート 23

コントロール、オペレータ

- LCD 機能、拡張 19
- 図示された機能 18

充電器、バッテリー

- AC アダプタ 10
- LI72 シングル充電器 8
 - AT17696-xx 9
- UCLI72-4 4 連充電器 11
 - インジケータ 11
 - バッテリー充電回数 11
- 承認済みリスト 8

仕様

- フォント / バーコード 41
- メモリ/通信 39
 - 通信ポート 39
- 印刷 39
- 物理的 41
 - 全体寸法 41
- 用紙 40

ショルダーストラップ、長さの調整 21

通信、ワイヤレス

- 802.11 b/g 26
- Bluetooth 26

テクニカルサポート

- お問い合わせ 36

トラブルシューティング

- LCD コントロールパネル 34
- コンフィギュレーションラベルの印字 22, 36, 37, 38
- 強制シャットダウン 36
- 通信診断モードに入る 36

トラブルシューティングトピック 34

バッテリーパック

- インストール 12
- スマートバッテリー、機能 6
- 再調整 18
- 寿命、延ばすヒント 32

プログラミング言語

- CPCL 4
- ZPL II 4, 31

マニュアル

- CPCL プログラミング 26
- RFID Programming Guide 31
- Wireless Configuration Guide 25

無線通信規制情報

- 802.11b/g 無線 27
 - 中華人民共和国 28
- Bluetooth 無線 (ZBR4) 27
- RFID エンコーダ 30
- 併用 802.11b & Bluetooth 26, 29

用紙、装填

- ラベルピーラーの使用 15
- 内部ロール 13
- 外部供給用紙の使用 14
- 外部用紙
 - 用紙スペーサ、使用 14

- 熱転写フィルム 17
- 芯の直径の調整 16

ラベル、構成 22

- 診断ツールとしての使用 22

L

Label Vista

- WLAN パラメータの設定 26

P

P4T メディア 40

R

RFID

- サポートされるラベルのタイプ 31
- モデル RP4T 6



Zebra Technologies International, LLC

333 Corporate Woods Parkway

Vernon Hills, Illinois 60061-3109 USA

Phone: +1.847.634.6700

Toll-Free: +1.800.423.0422

Fax: +1.847.913.8766